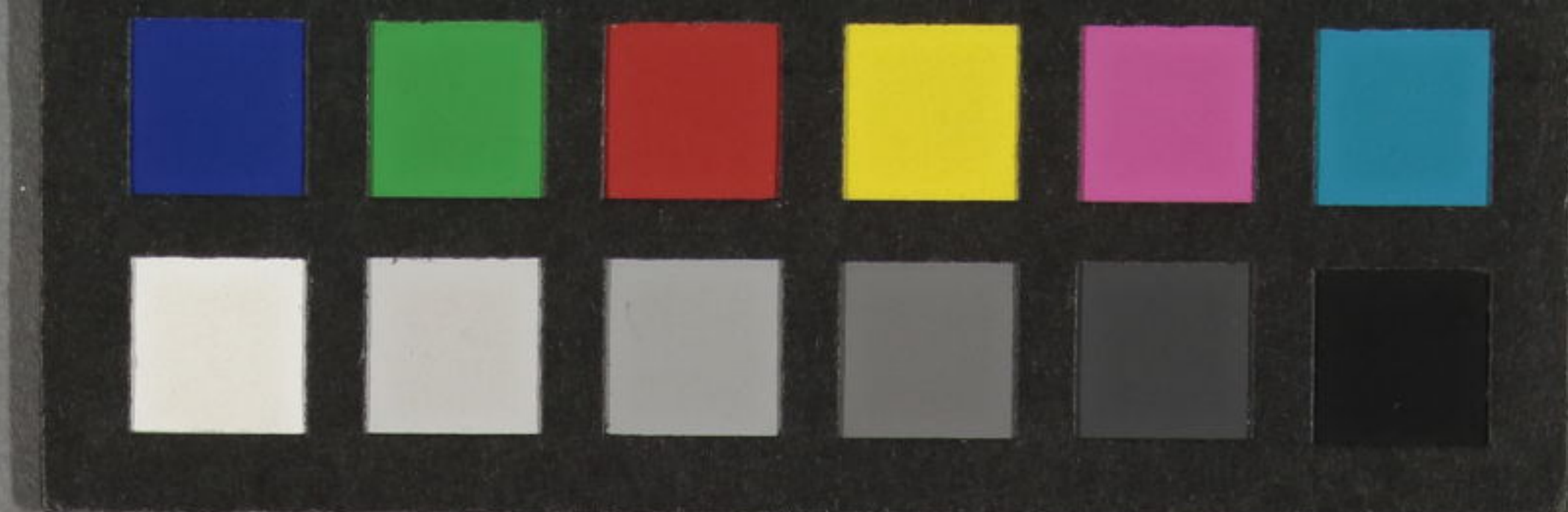




五部書
五之巻
終

紋所刻書鑑

郷文庫

一 兩向合紋書換り事

二 一割りりり千返割書

三 立葵本根八事

四 桐花たう事換り事

五 巴の元割付振り事

六 藤より事換り事

七 香の果割付り事

八 三階菱割付り事

九 梅りり事換り事

割紋二



一花^りの^かの^木板^事

一^い菱^が割^り板^事

一^い菱^が割^り付^く事

一^い菱^がの^けの^事

一^い檜^の割^り板^事

一^た板^の板^の事

一^た蛇^の目^の板^の事

一^た湍^の板^の事

一^い切^の口^の割^り板^事

一^い井^の筒^の板^の事

一^い鱗^の形^の板^事

一^い六^のツ^の角^の板^の事

一^い角^の切^の板^の事

一^い松^の板^の割^り板^事

一^い丸^の小^の二^のツ^の板^の事

一^い日^の之^の板^の事

一^い折^の入^の板^の事

一^い網^のの^の板^の事

一^い麻^のの^の板^の事

一^い蜀^の江^の錦^の板^の事

一 毛甲^{けうこう}を換^かふ事

一 金^{かね}を換^かふ事

一 浪^{なみ}海^{かい}水^{みづ}を換^かふ事

一 電^{でん}を換^かふ事

一 梢^{たて}脇^{わき}花^{はな}を換^かふ事

一 おしら^{おしら}を換^かふ事

一 糸^{いと}刻^く付^つ板^{いた}の事

一 檜^ひ垣^{がき}を換^かふ事

一 お鱗^{うろこ}刻^く付^つ板^{いた}の事

上

お向^{むか}合^あ収^{しゆ}を換^かふ事



向合世乃紋刻板

右近あり居れ紋刻板

此高丸と迫りて中じり

今来ト中門を方へて

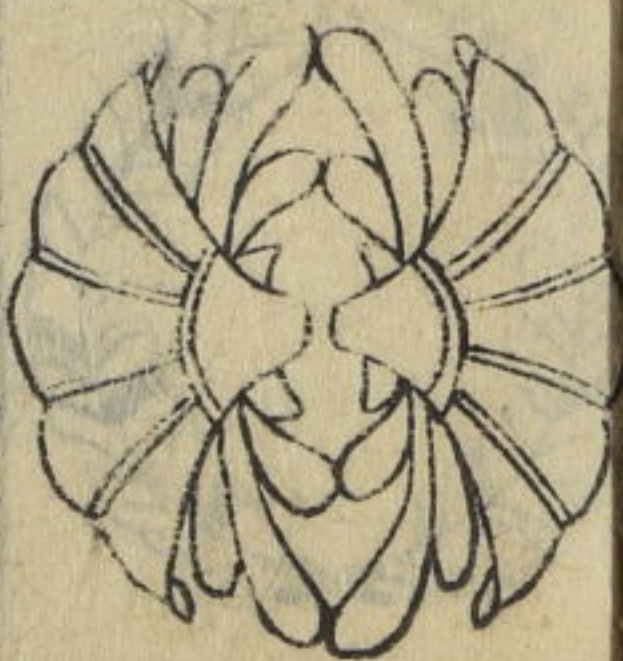
右此刻りてきん紋方

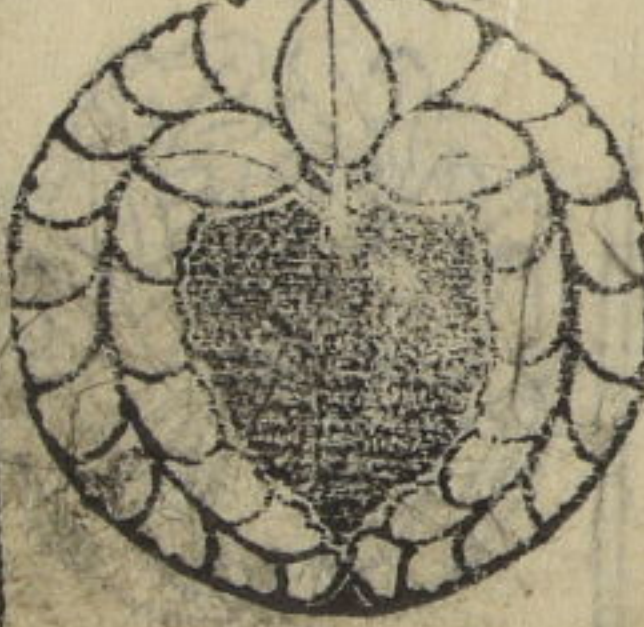
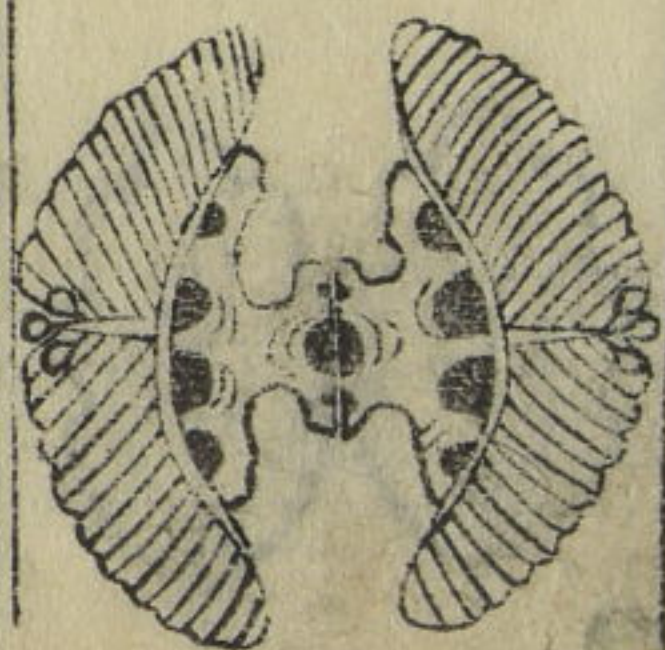
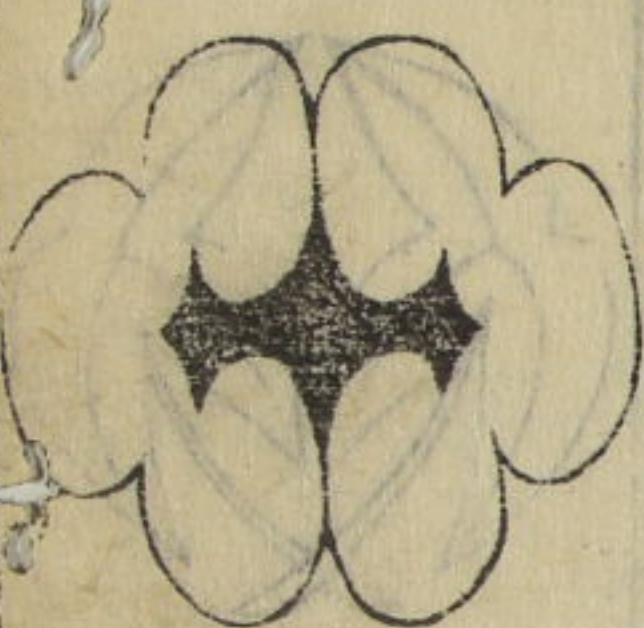
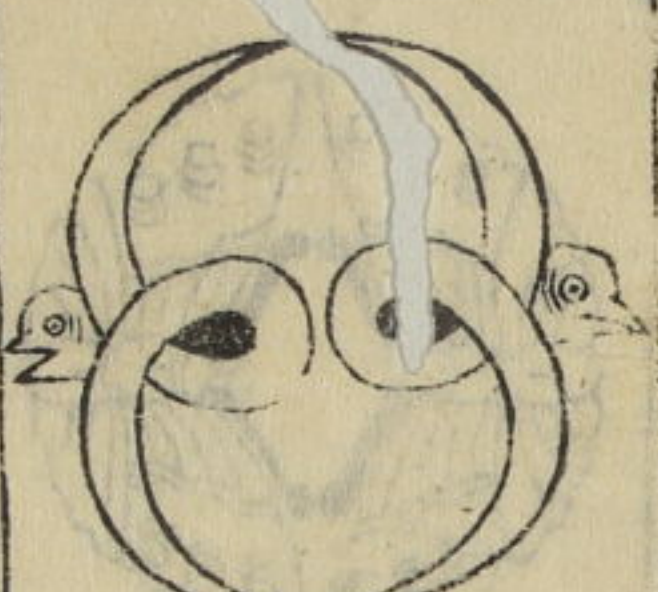
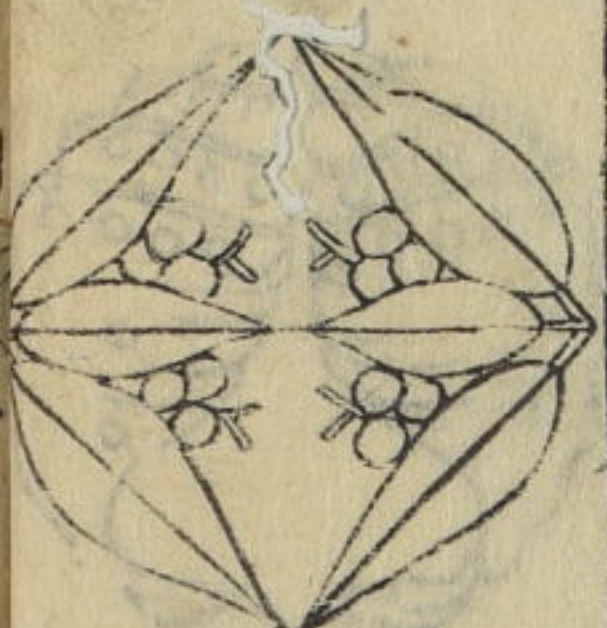
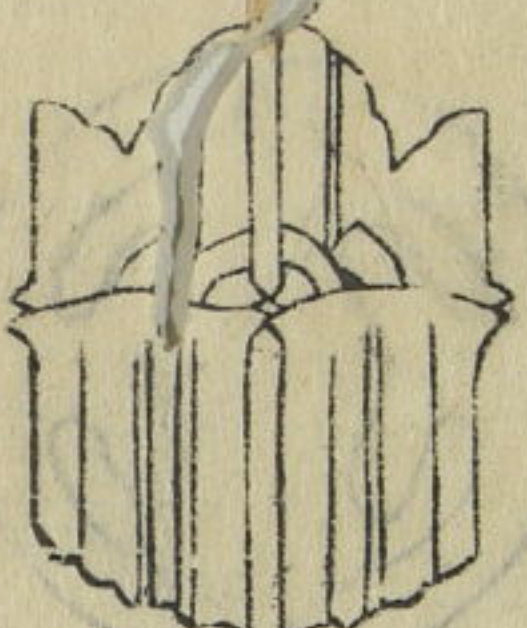
本殿とて高止此外何

とて色はうい合ふ所

又ハ式本立とて紋

如初也







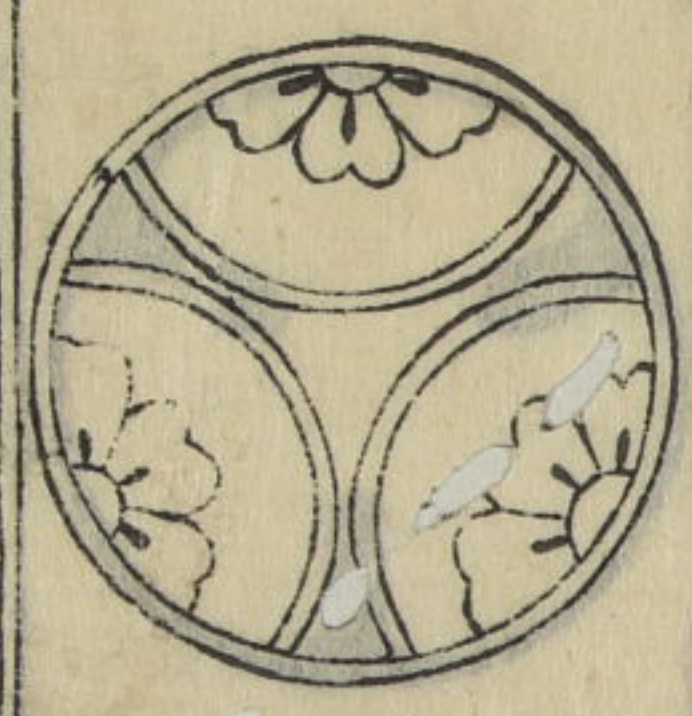
三ツヨリやうな図

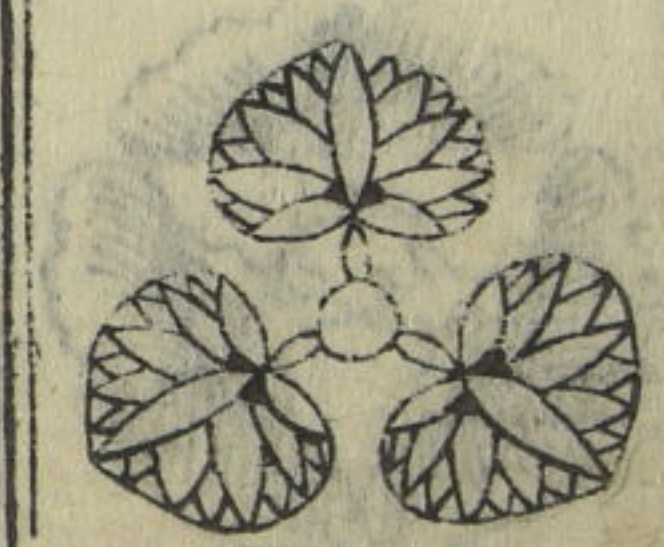
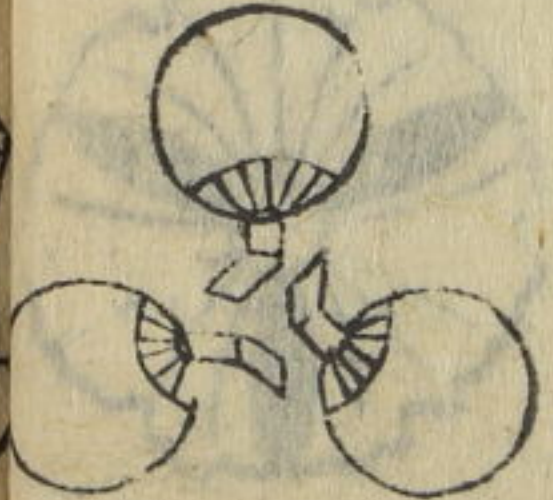
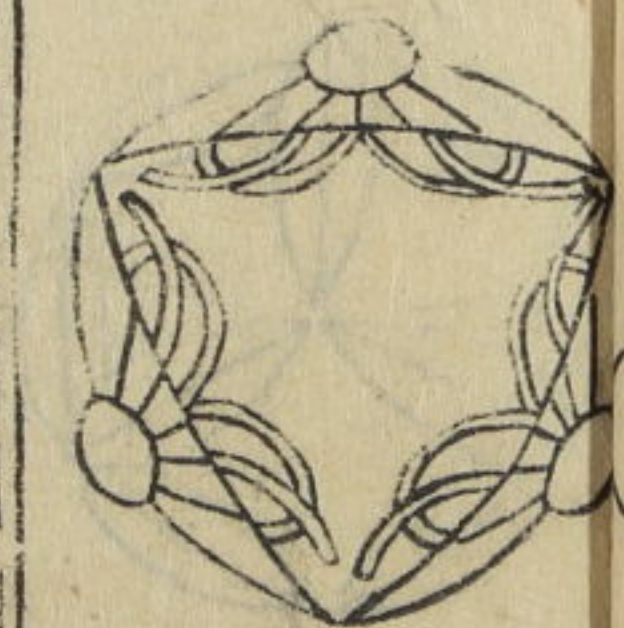
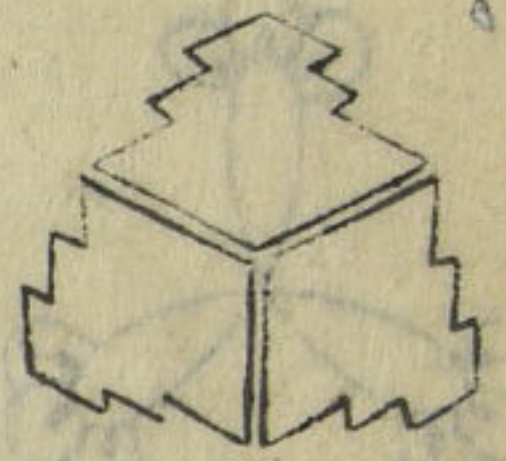
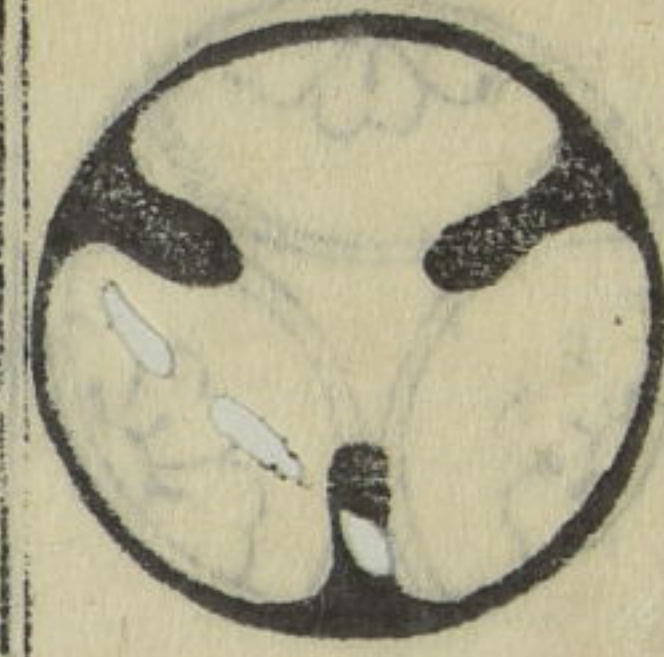
けり何れも分るゝ事なり



けりうはてす分るゝ事なり
七寸五分有但しすゝ丸なり
熱廻り三寸有と可なり
の丸三寸三寸あり

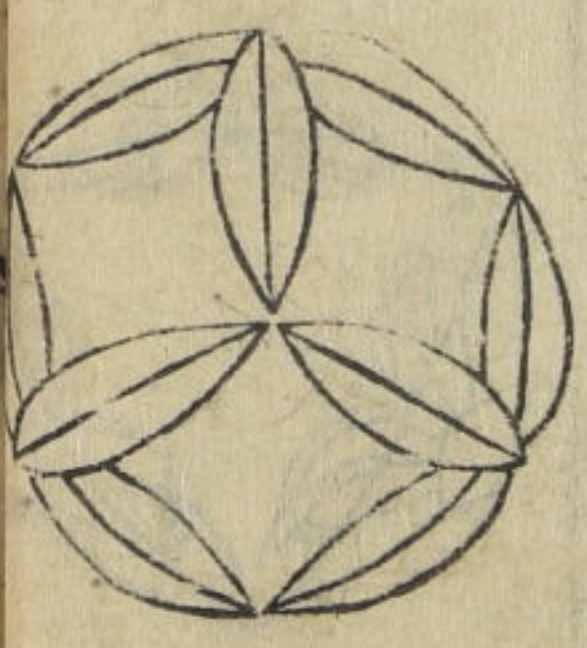
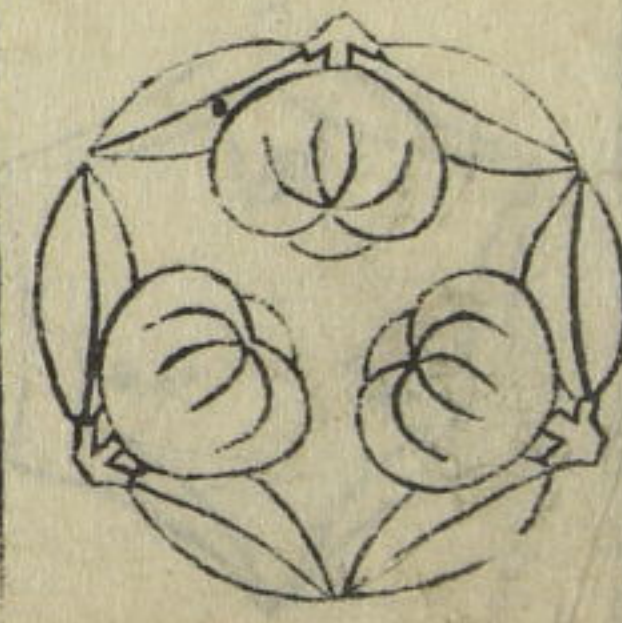
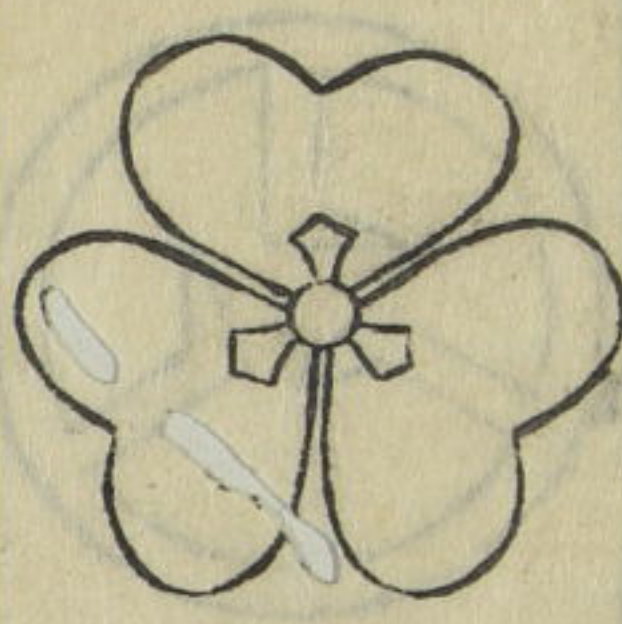
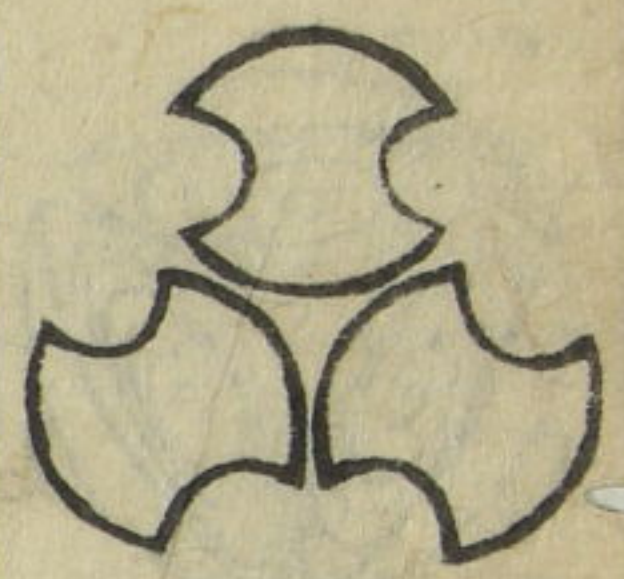
此三ツの物刻やゝ先
 九と曰一とまうれ金一と
 て如家一と下に分まりと
 立あ方二とれと一と付
 備二と下に分まりと三と
 りと下に分まりといけ
 四れと一と付と者通に
 刻一と三つと一と也
 中より三つと三方と
 たり者三つと大つと
 も同り也と一と三つと
 わく出るなりんれと
 方書集もの也け何
 ようとす三つと一と
 二割也



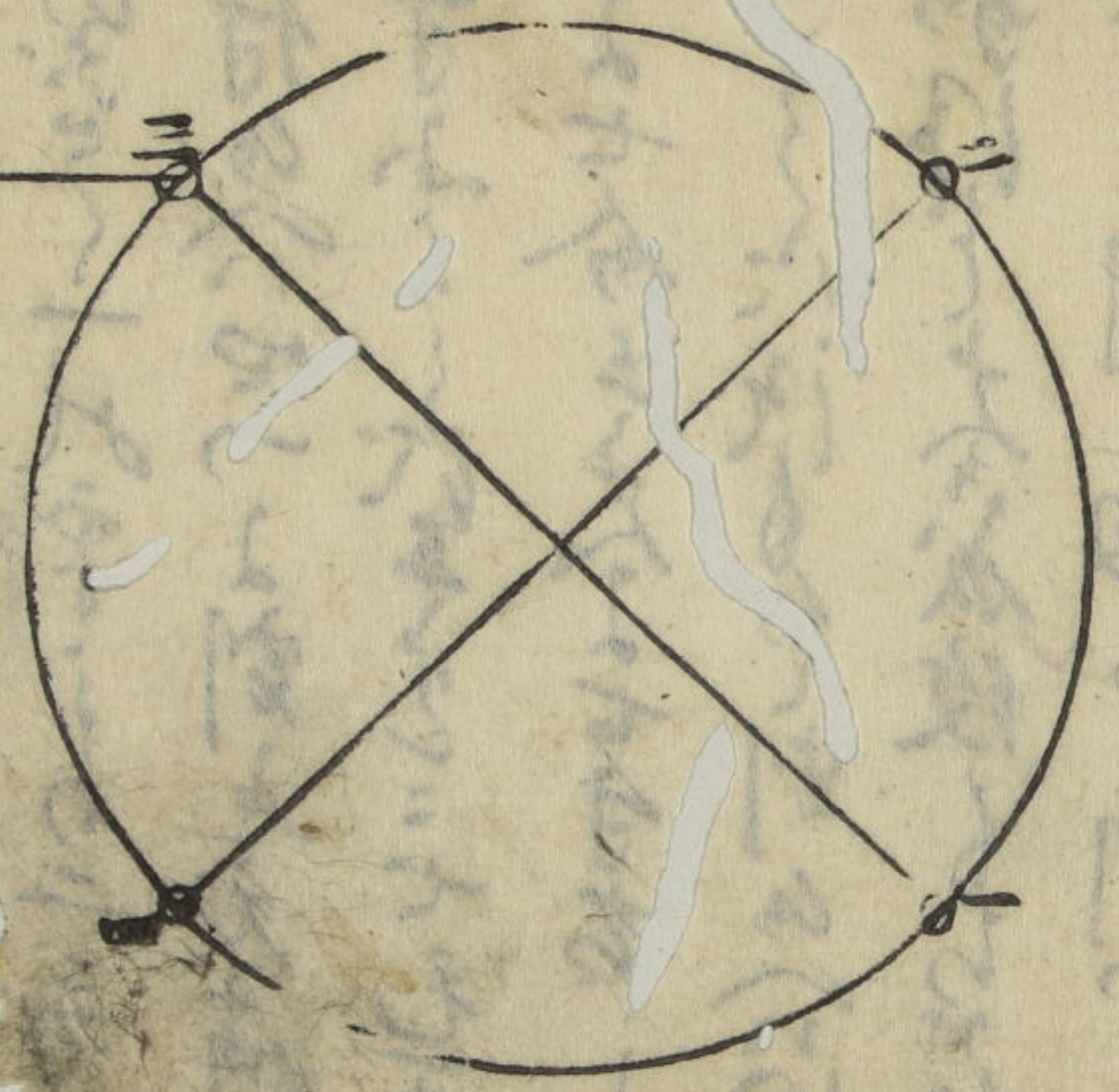


青糸上

青糸白



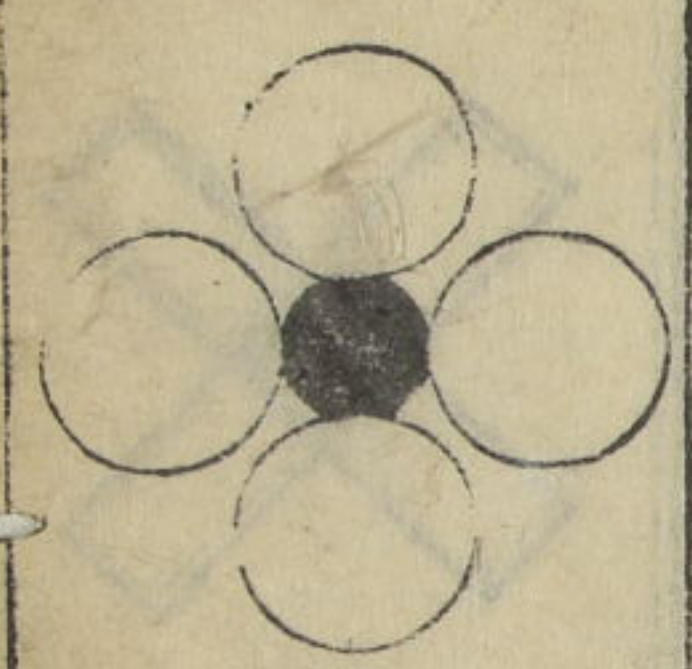
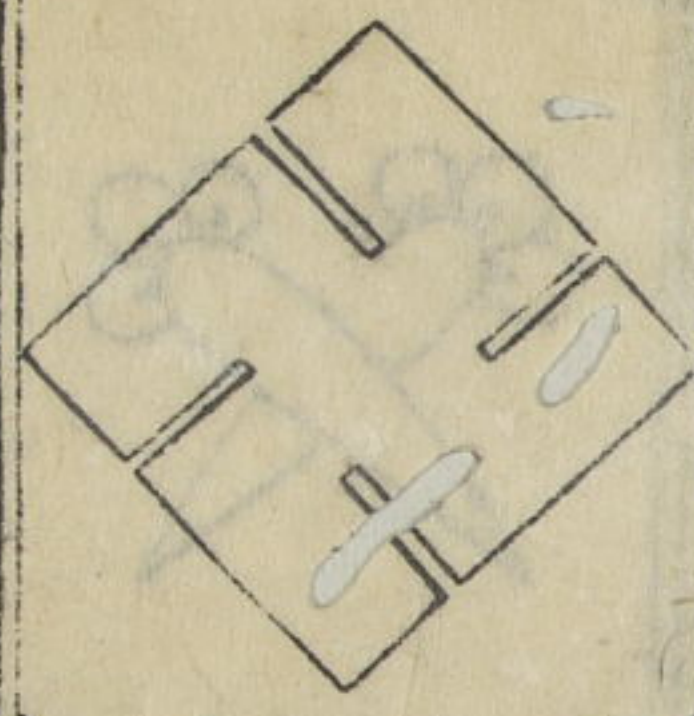
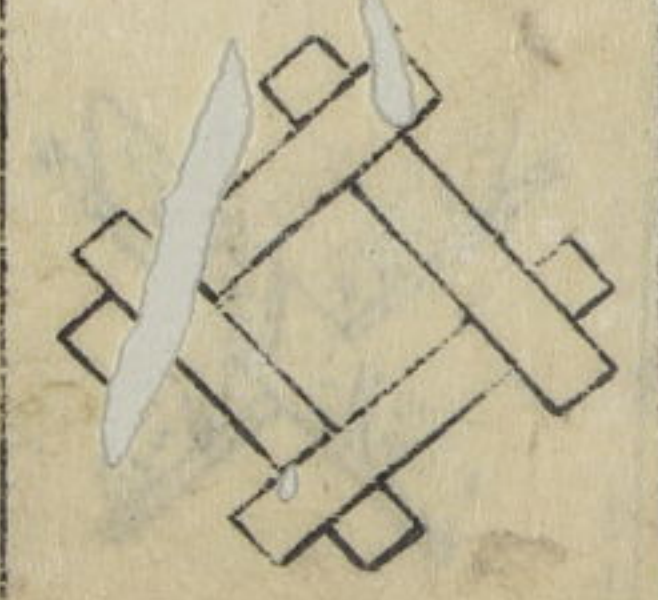
四ツ刻屋うろ



ひりちりちりちり
まうまうまう

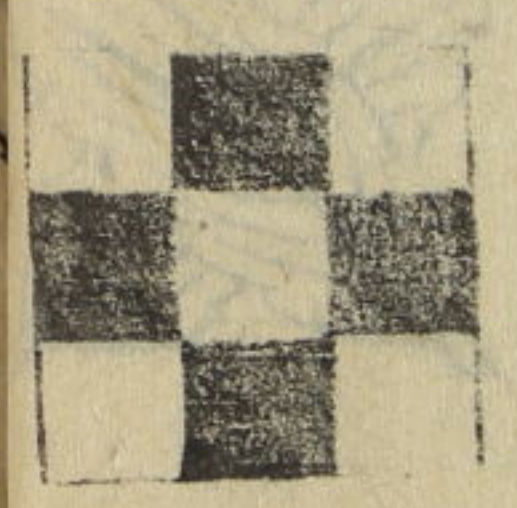
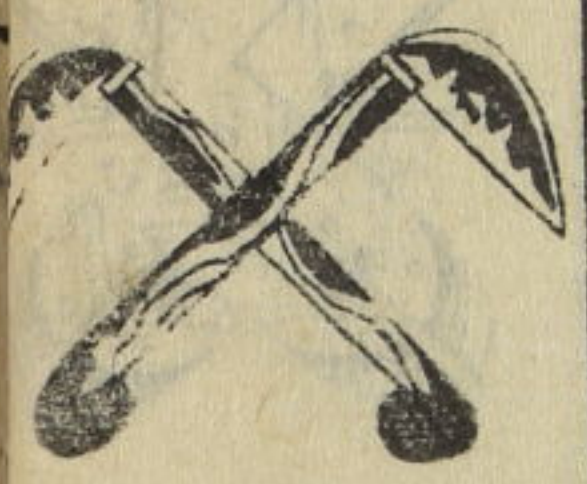
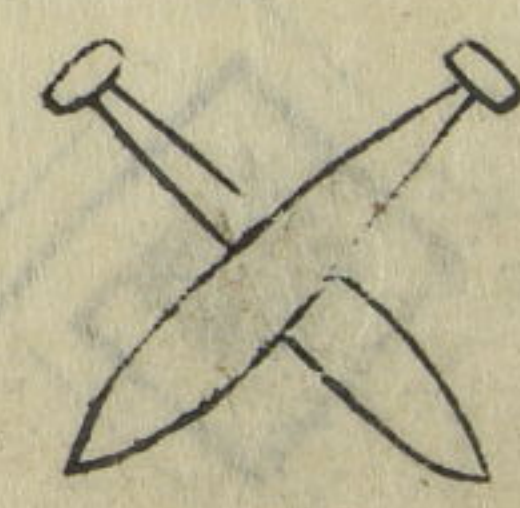
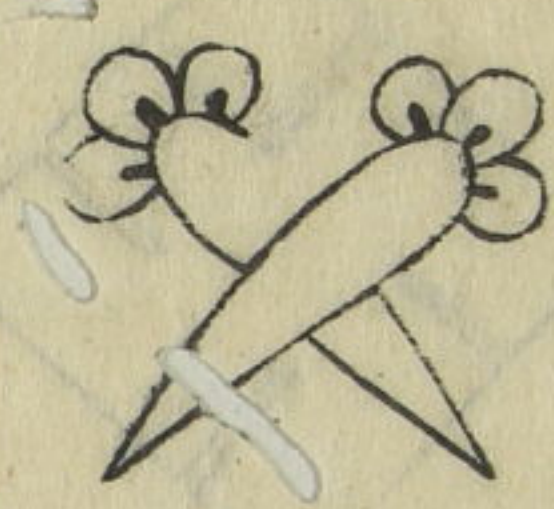
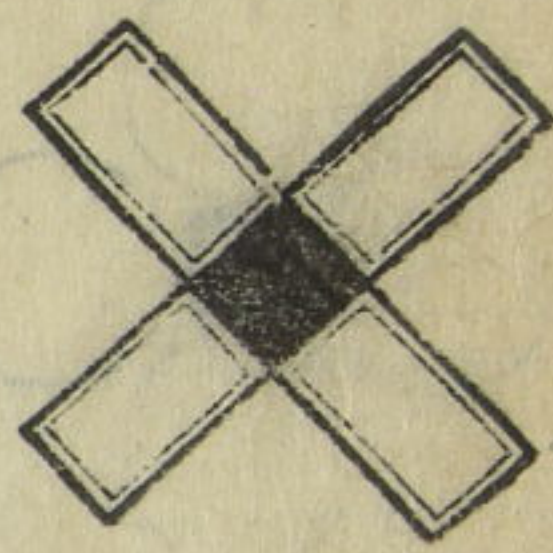
割紋上

右の仕振る事或ふ
とすれ紋のつゝ割れ
分廻りと七分ひりけ
のどろ一れ平より二
付のつゝ割れ大荷
すふゝにきりこ七毛
よ七分と人よ七寸
こゝにほもて割れ
かほと大紋もち
なく割れ也極ち割れ
あり紋の分あり書



書

九



カッ割やうの畧

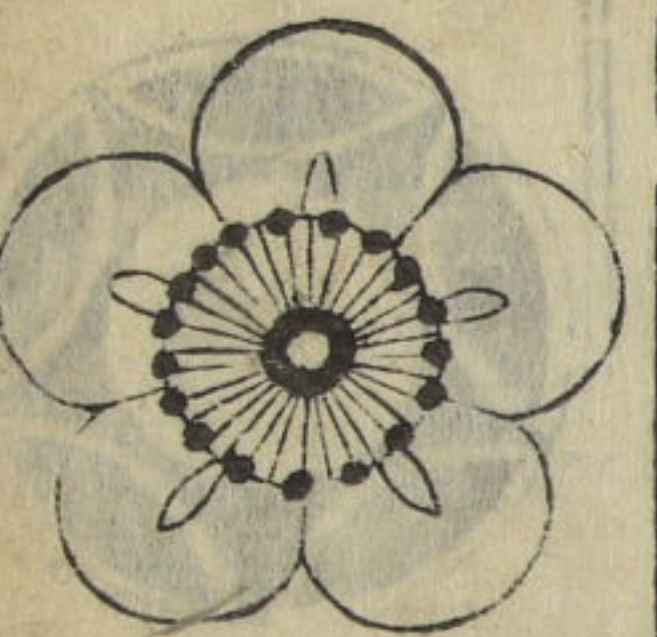
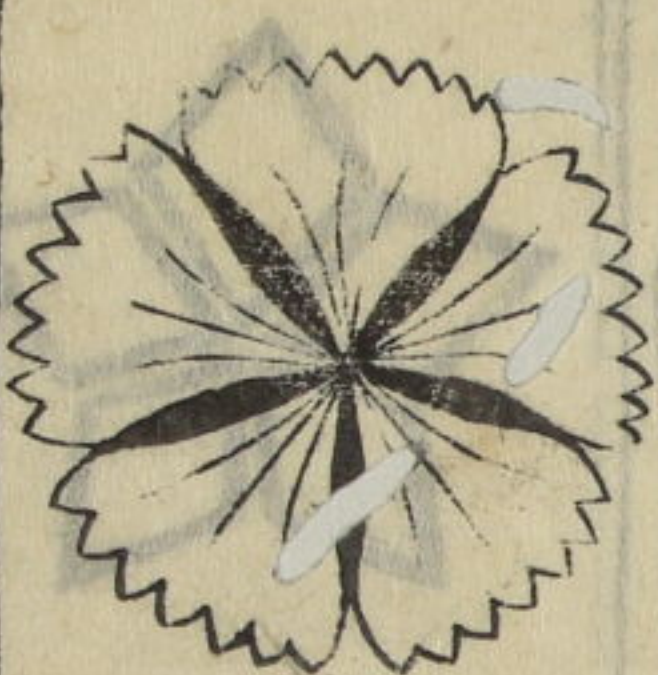
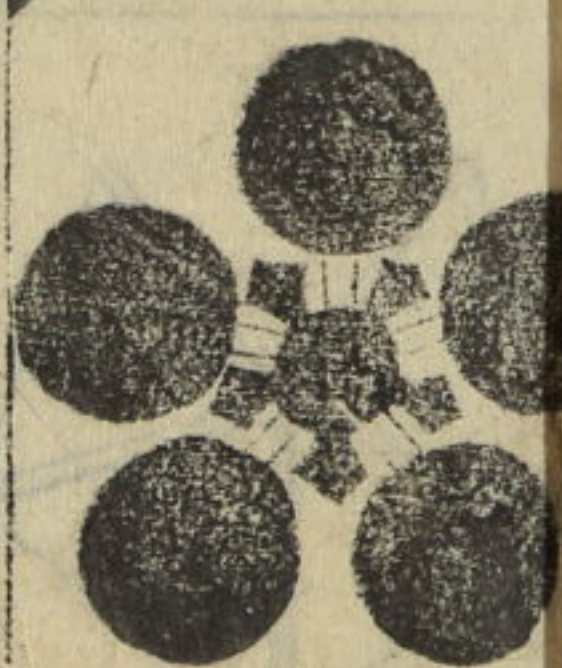


はりハふつたふん田
立

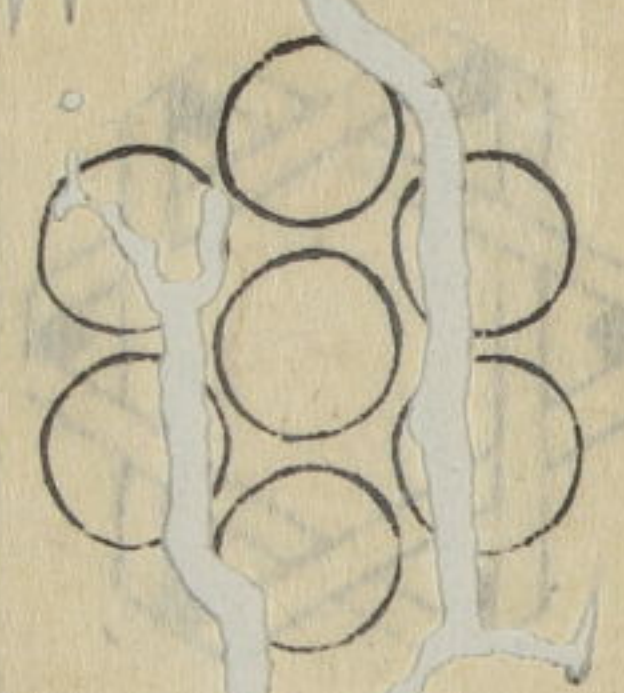
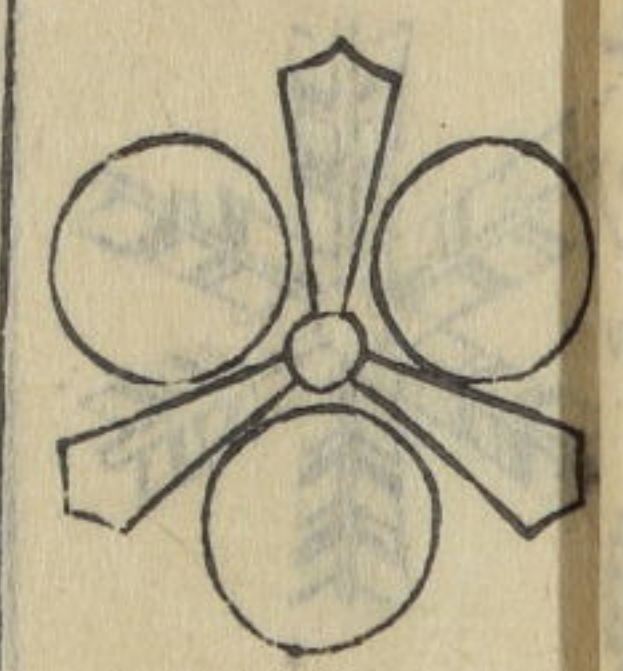
別文

世

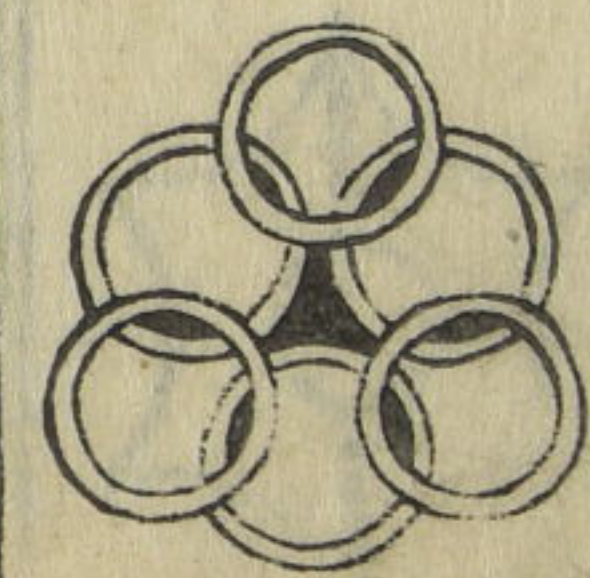
右の如く彫りたる事或本
 文より丸とカッニ刻内六分が
 目にして密着二ノ下五三二
 二と云う付くる所分目
 立者いふく波影は刻内リ
 一のハツは刻也たしく
 事すは六分を寸五分は事す
 一の寸二分は寸五分は事す
 紋と刻内ハ五分は事す
 此れよりけし遠事なり
 備ふ刻内紋より事す
 一の也のより刻内事す



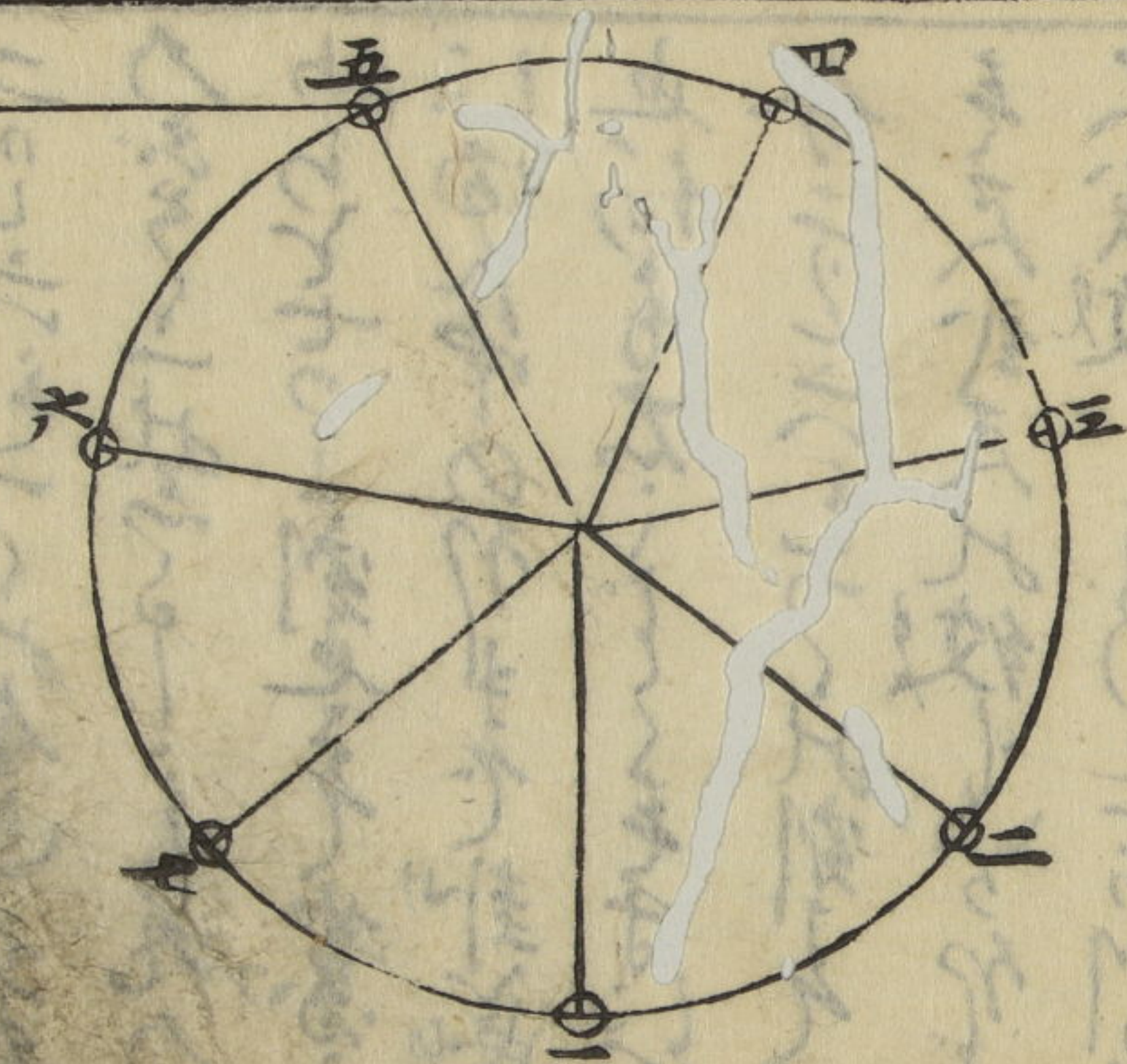
六ツの抱割屋の事
 けしひもまふれ九と六
 よるに戸はたゝまの
 九とまのゝゝゝゝ
 そのゝゝゝゝゝゝゝ
 一のゝゝゝゝゝゝゝ
 よるに付ひでゝゝゝ
 ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 もゝゝゝゝゝゝゝ
 てゝゝゝゝゝゝゝ
 書集もの也



87



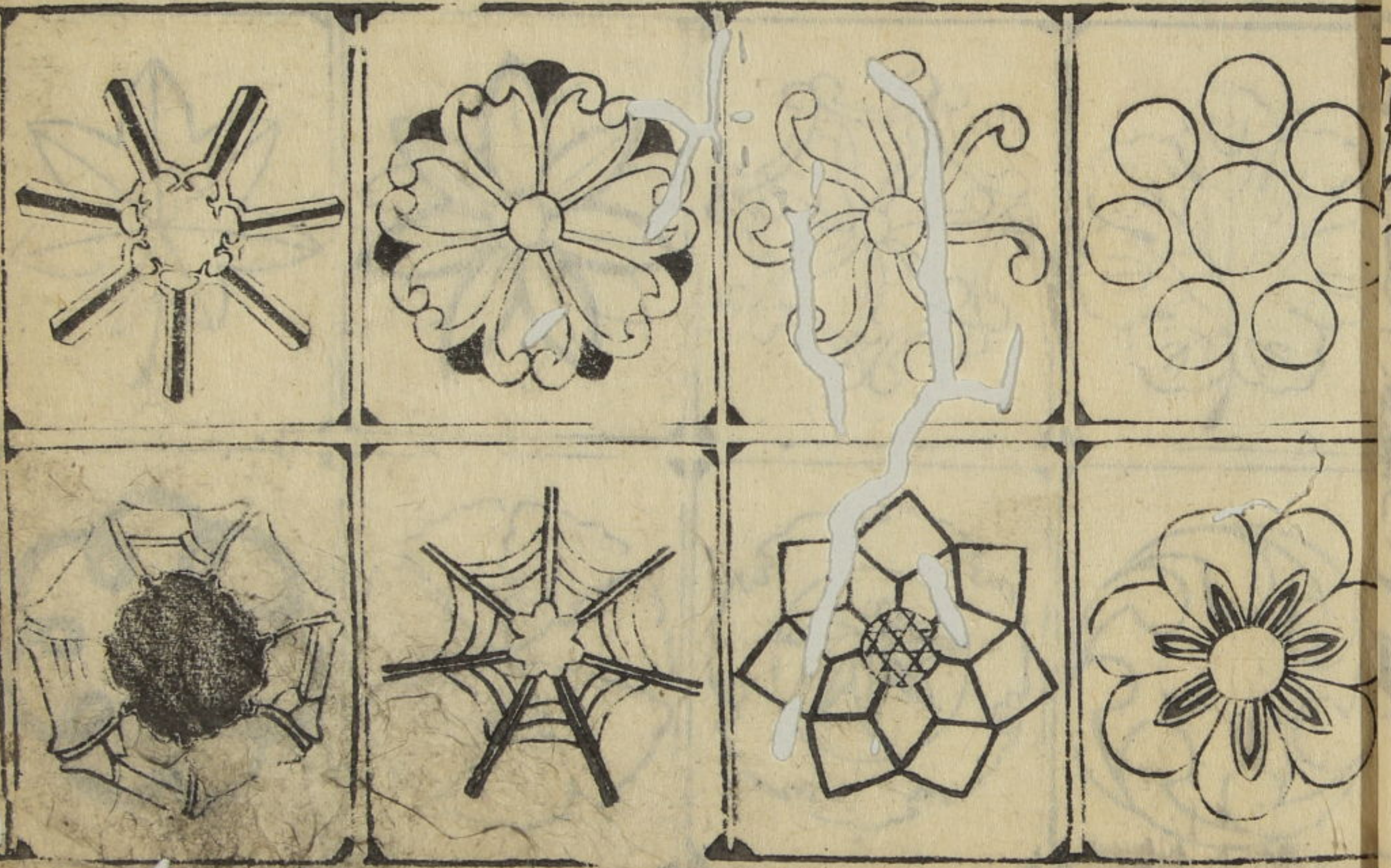
七ツヨリなうし



はりそふふん

朱

名セツ割仕極の事成ハ
 三寸九とセツ割仕は分
 ニし六もつれ金目サキ
 ノミク一はるーも丸ノ
 少りとセツ割仕もサキ
 に内中のサキで卦^イ成
 也何も成とセツサキに
 分ニし六もつれ割仕ハ
 五尺式尺れ紋もサキ
 大成紋と見ゆ也セツ割
 三寸紋あり虫集りの



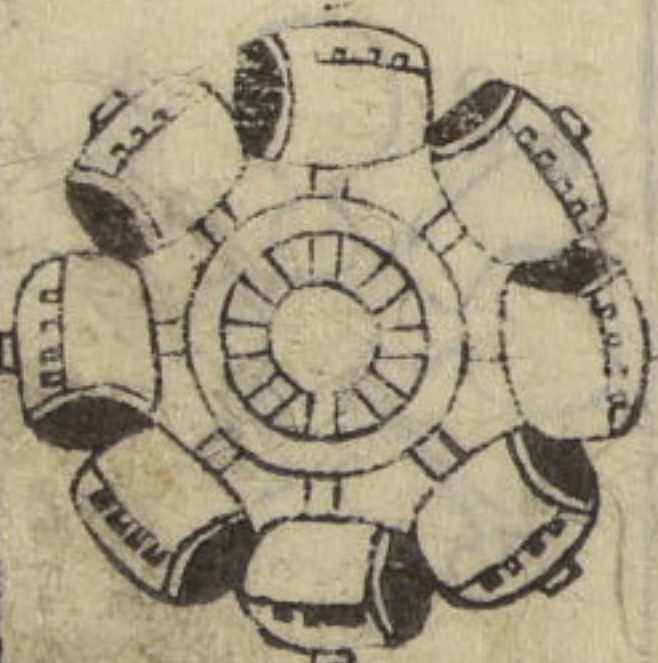
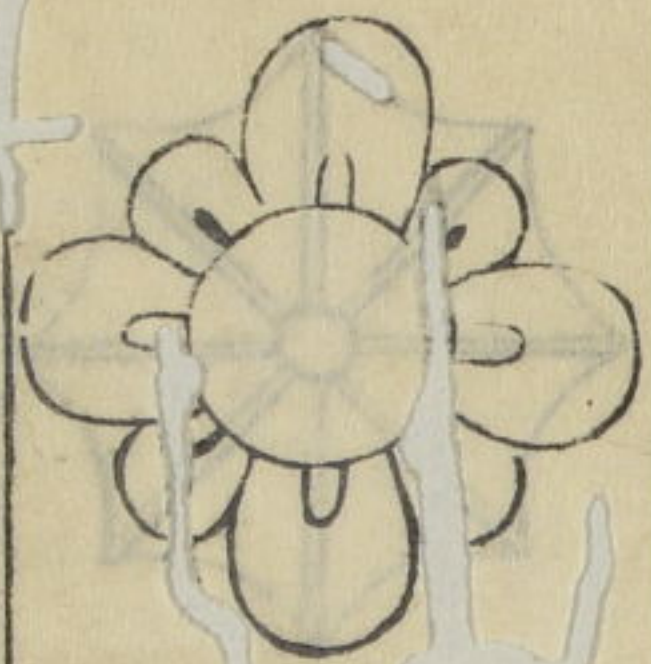
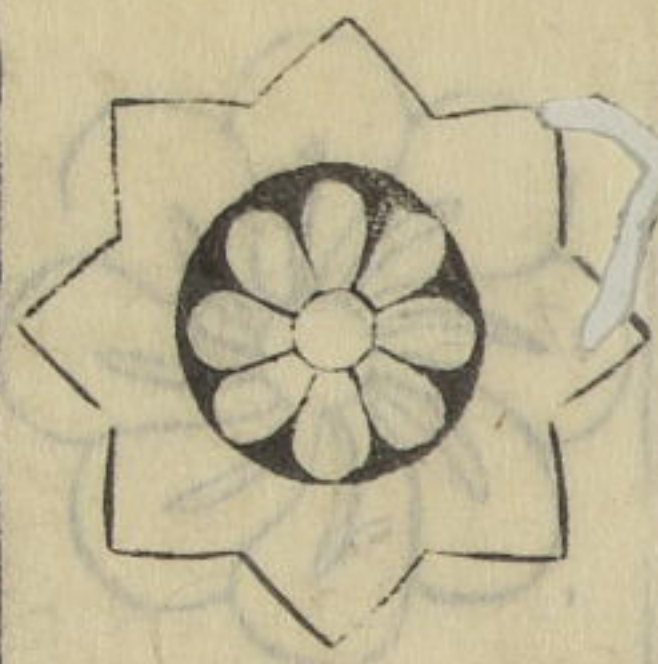
はりあふて圓にちいなり



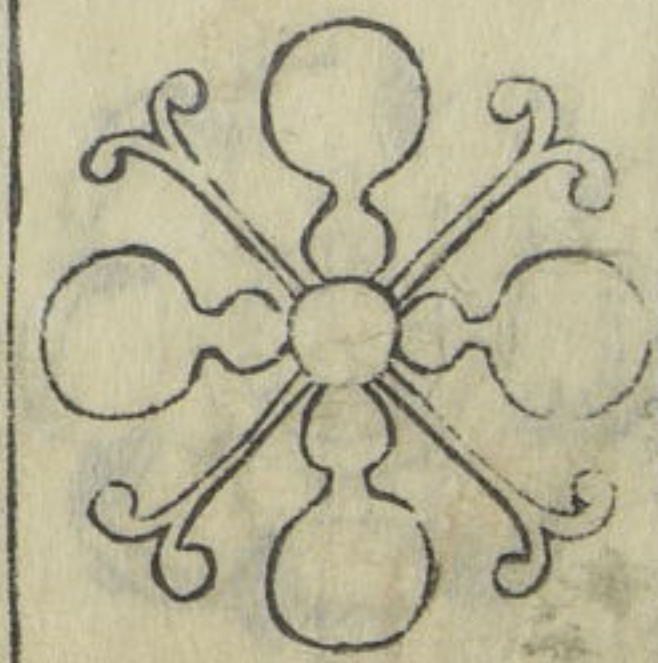
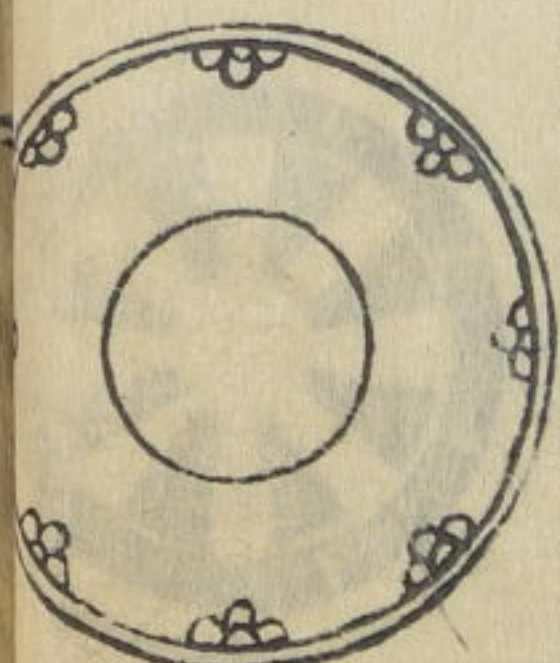
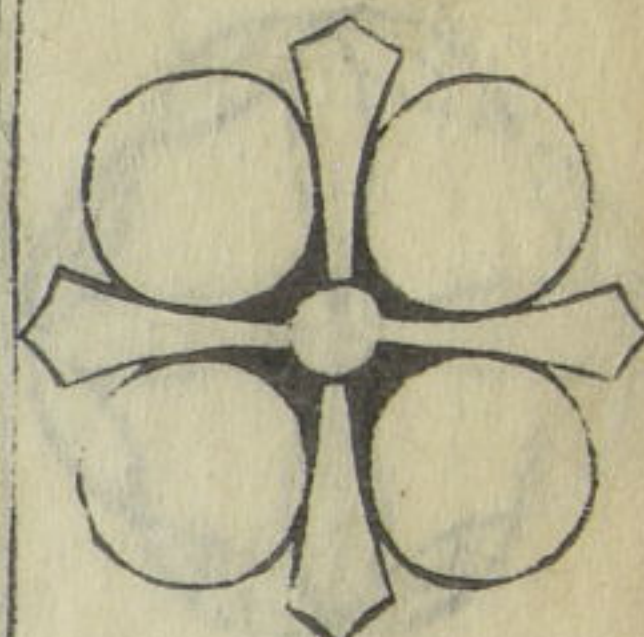
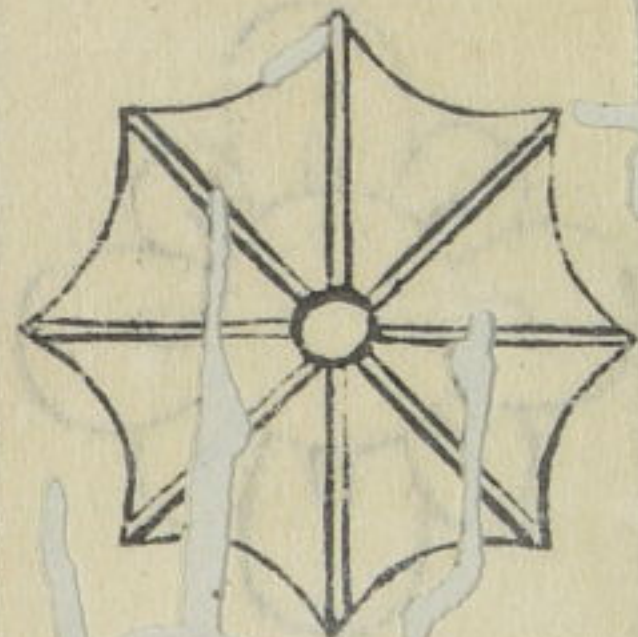
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ



十



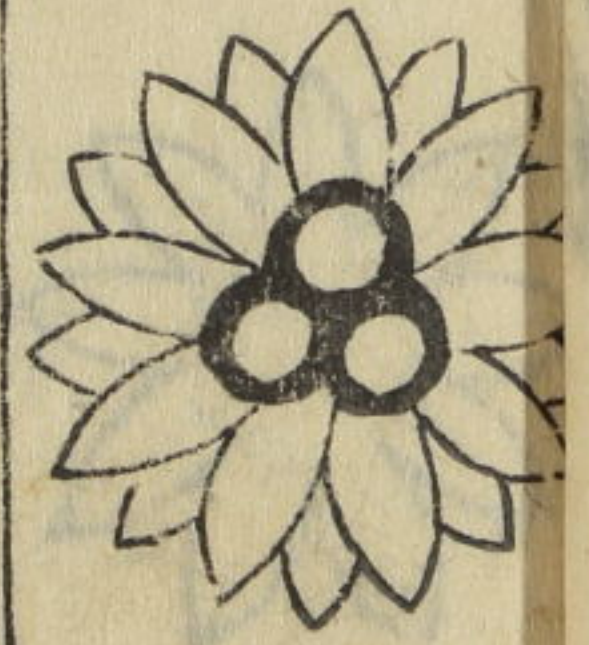
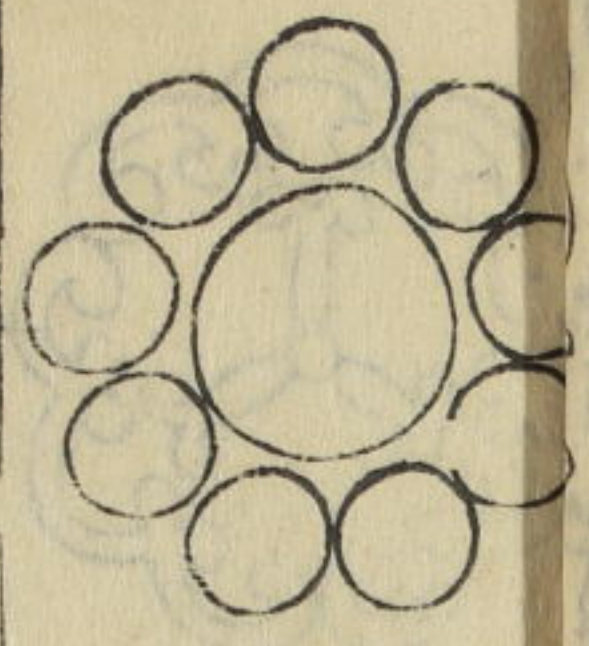
九ツ窓やうの家



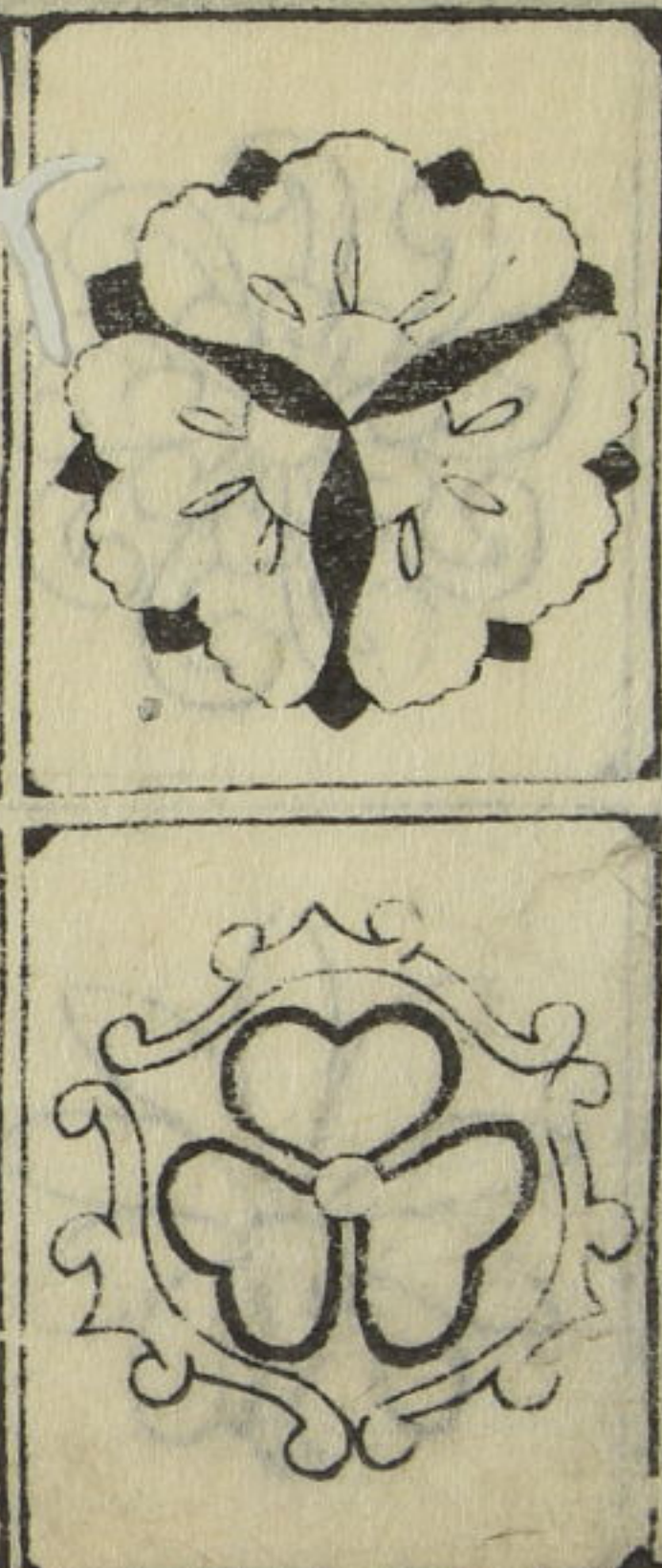
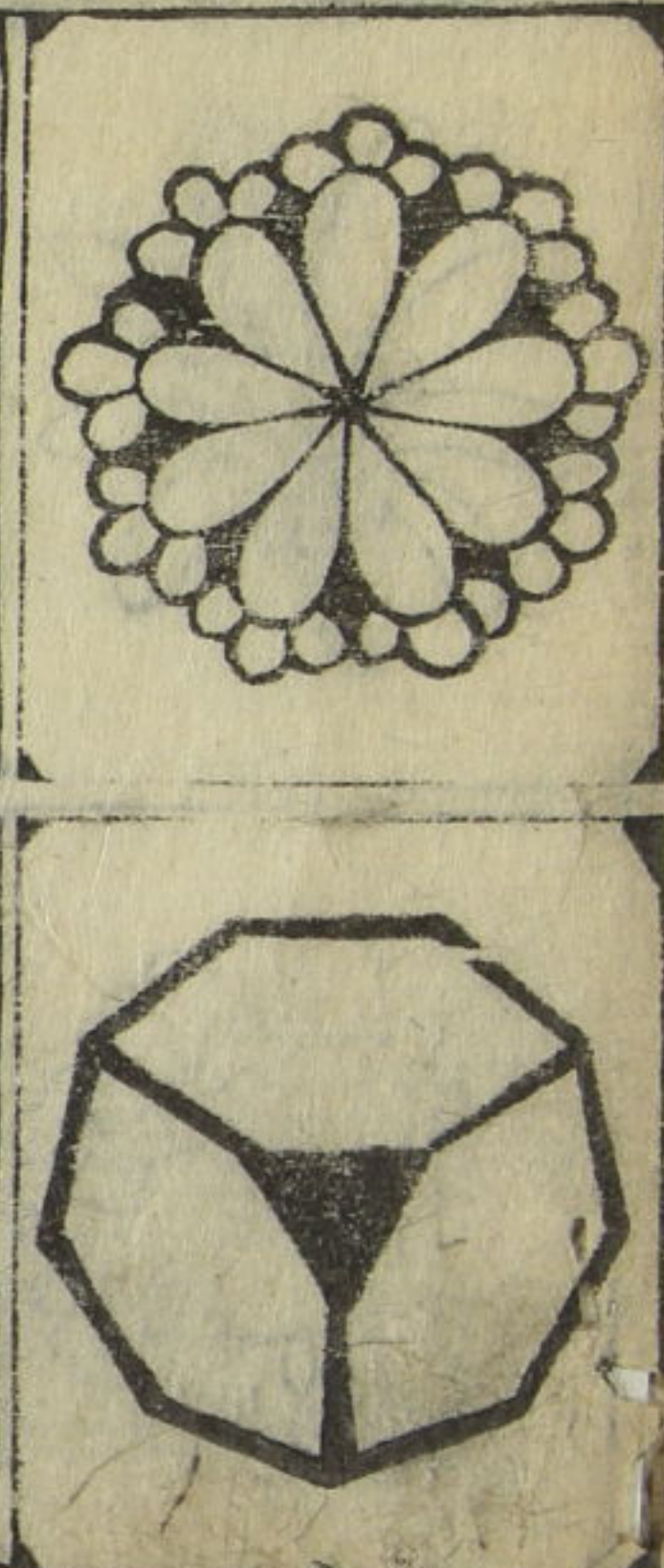
けりふらふらと今姐



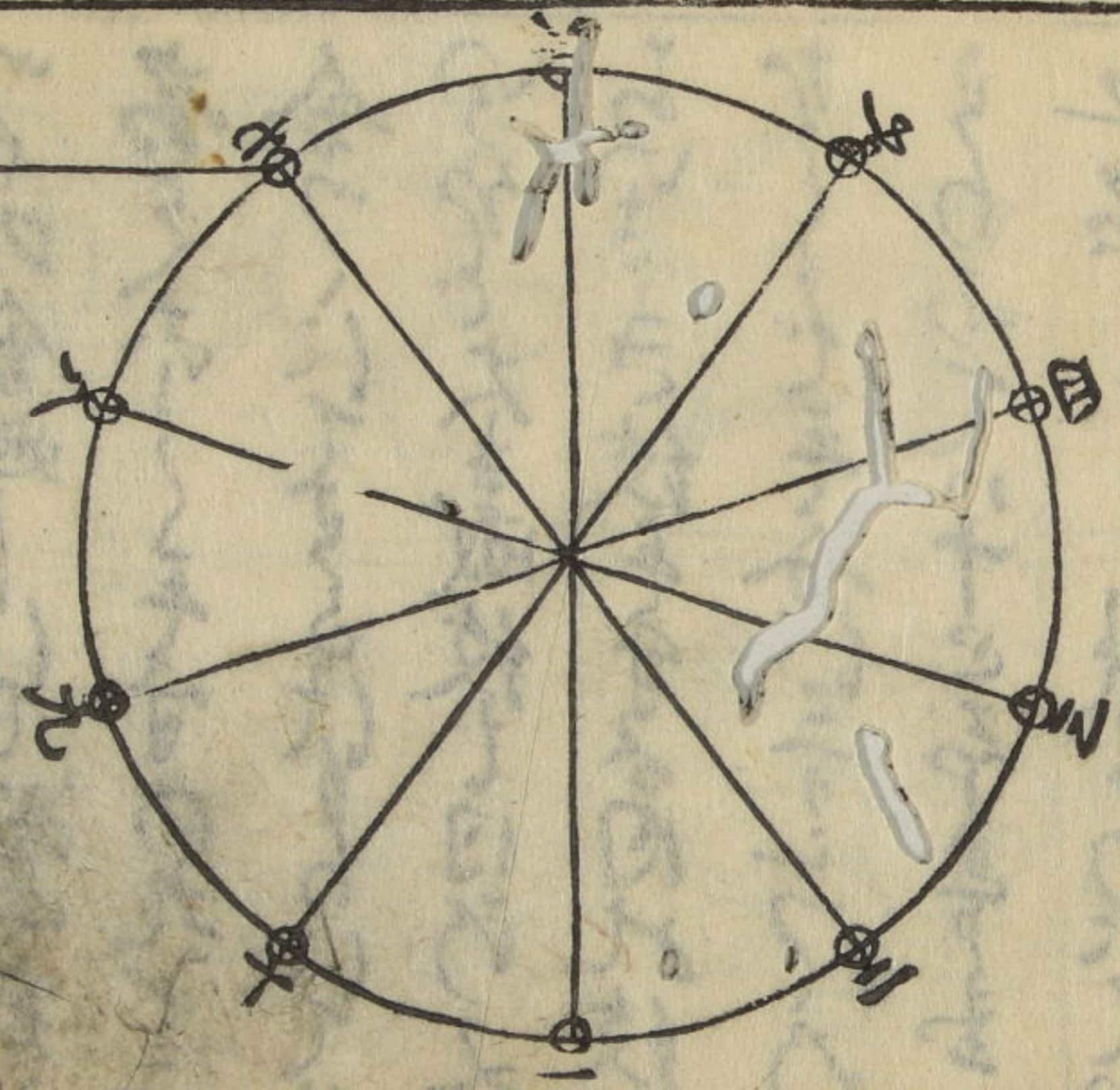
名九ツ此刻屋うも先
きすれ丸と九の刻付
ゆふニ分三ツツのぶん
まうふく番のあき一
れあきしうと九のあき
まき丸のふらとまりこ
て中のはしき丸の
卦と丸のふらとまり刻
P事太の成紋もふき
紋も因の也 係九ツの
刻P紋あきしき書案



書
糸
上
十



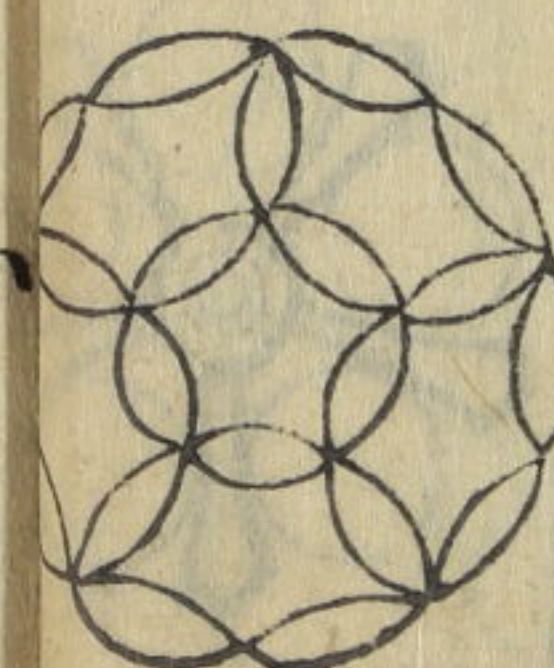
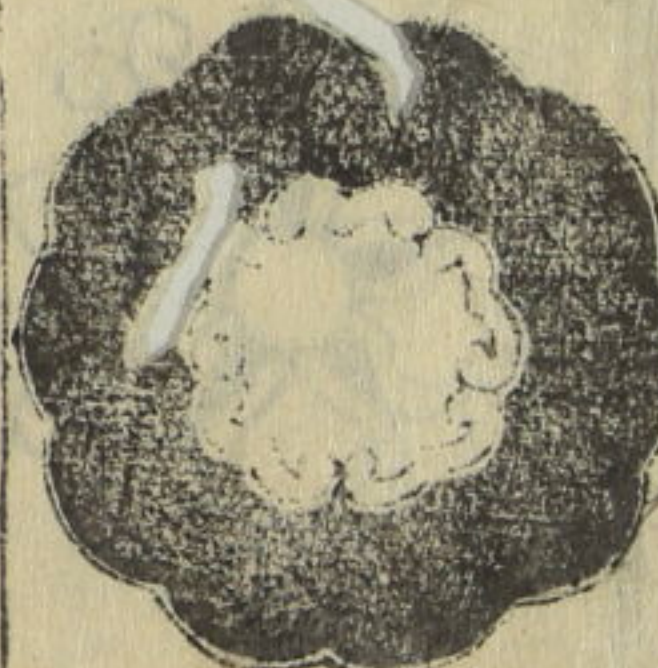
十之割



十之割

十之割

楚

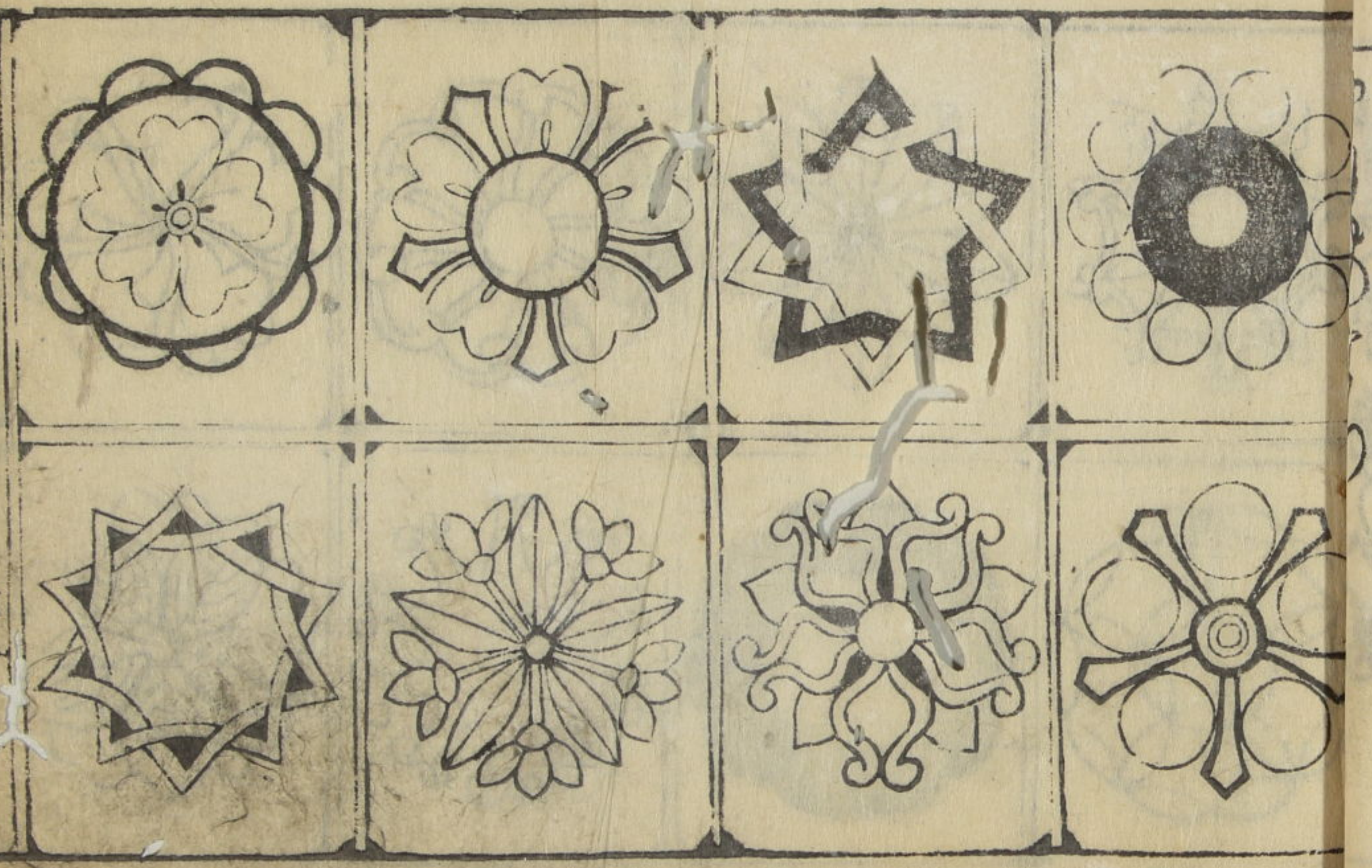


子



此四ツ刻
十人中央

名をまゝく十二刻をうゑし
 すれ九と十に割る時三分
 つの分廻して當り刻に
 名をまゝく三寸の九と三
 分つてにしてうゑしはりてハ
 今やど大藏紋も日め又
 ちよきさ紋をする月れ紋
 かなむきまに三つてハ
 うりあてハ十とあまふま
 也名にハハハハハハハハハ
 来ハハハハハハハハハハハハハ



割紋上

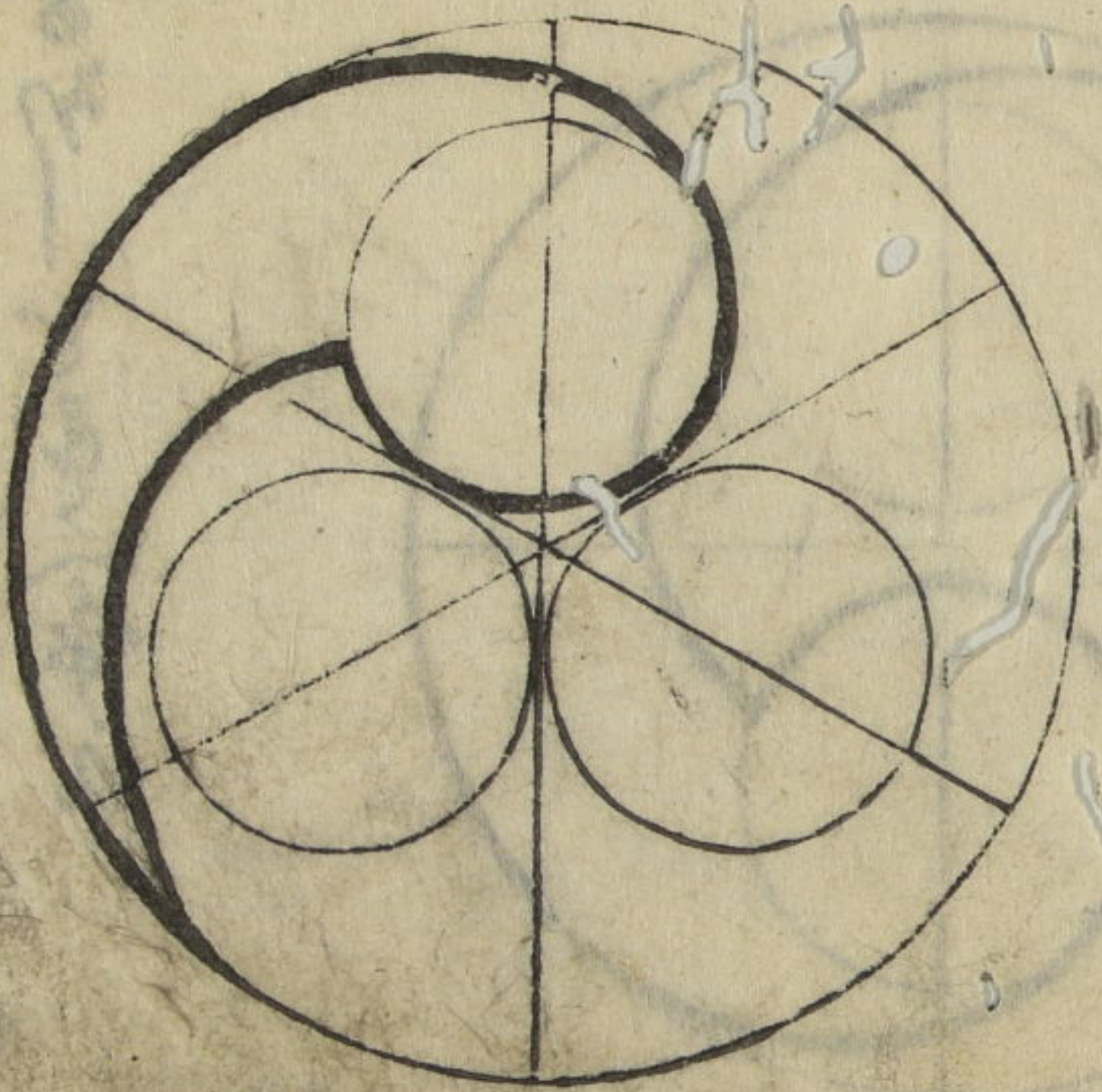
廿三

桐書板し易

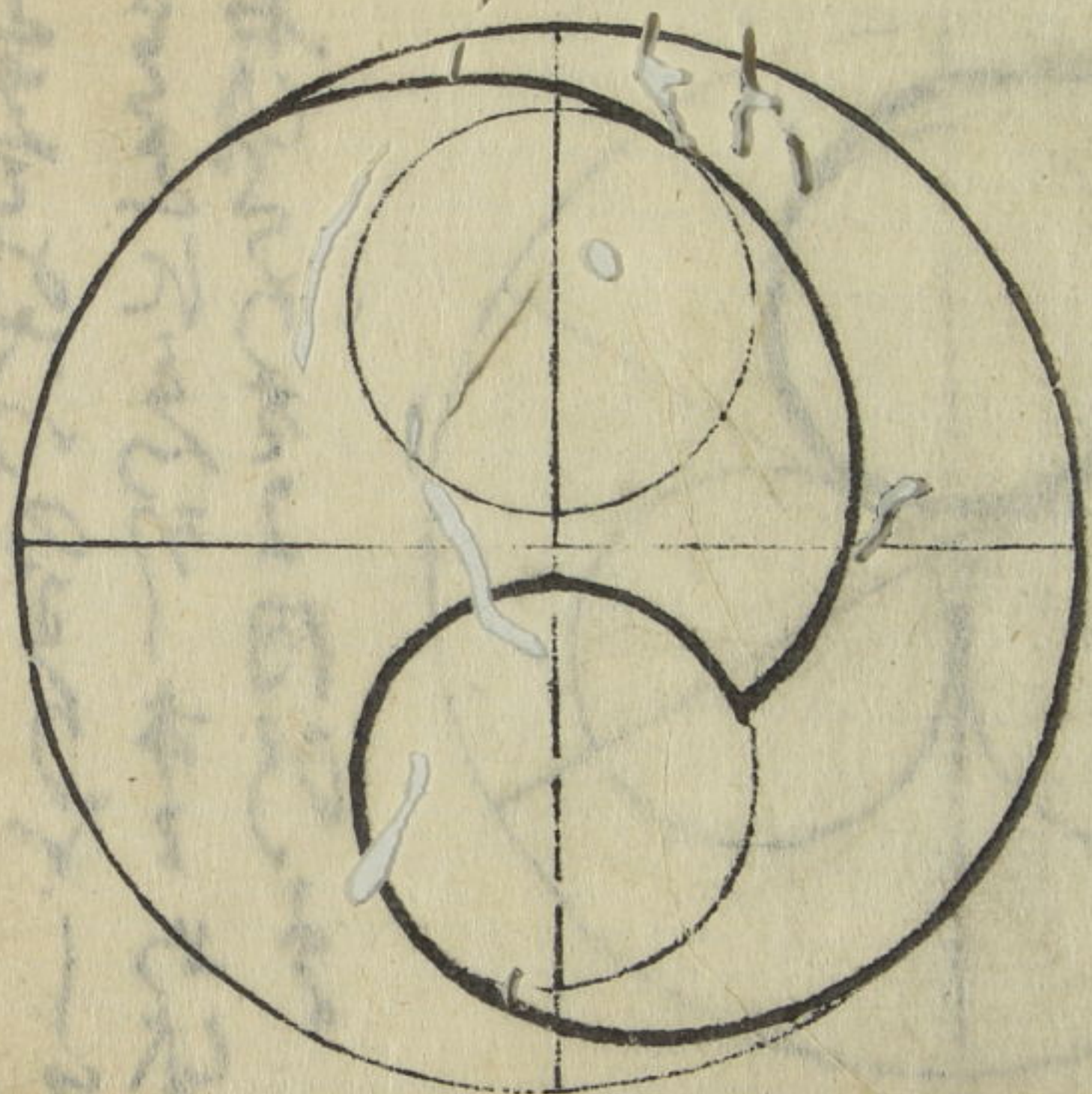


相の刻やうに其のハツれをりん

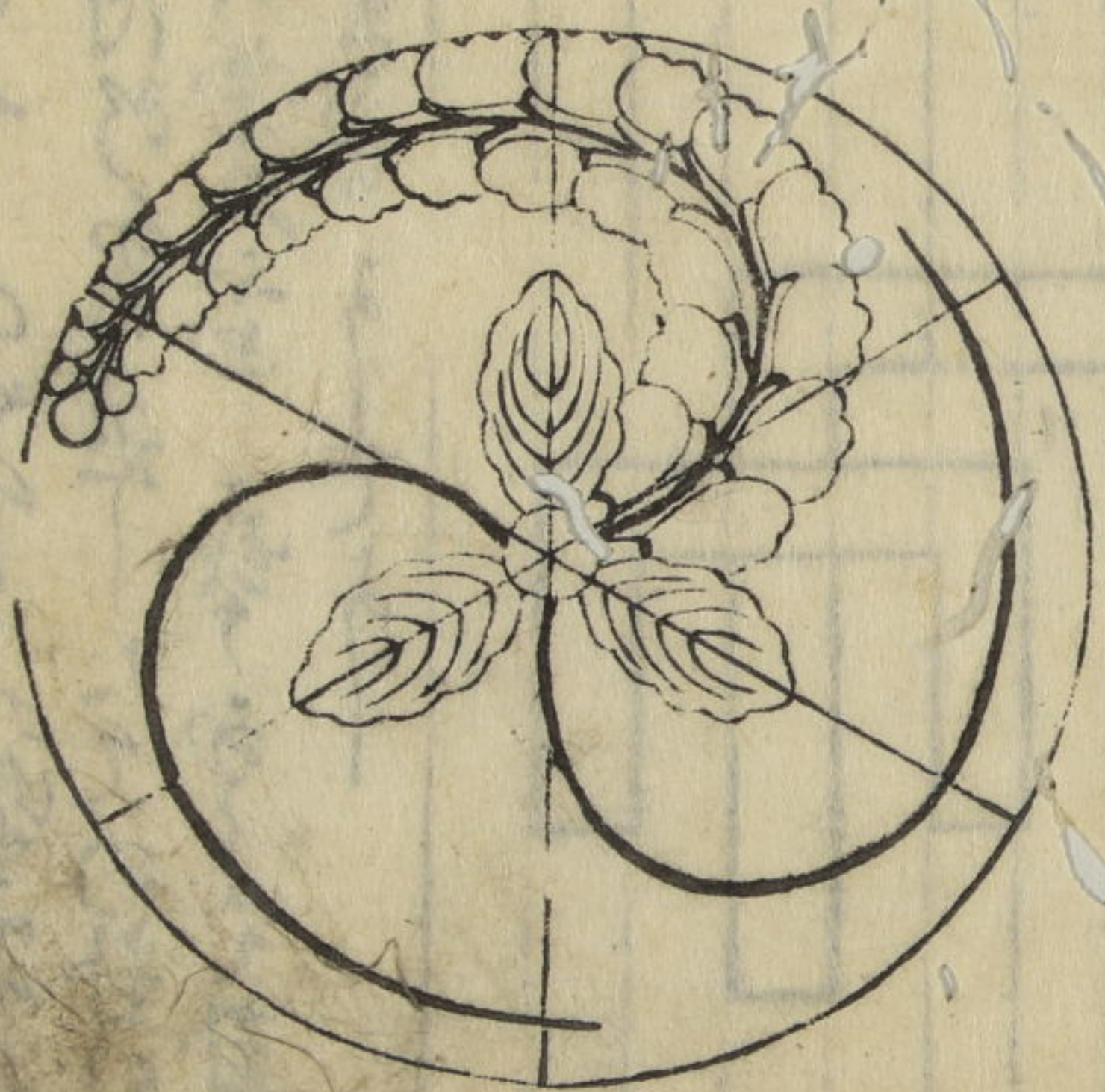
とつとりいまるを廻し
上をせつりのよりをーし
こゝ上にさる所本とわい本
右ひだりをよ同ひだり



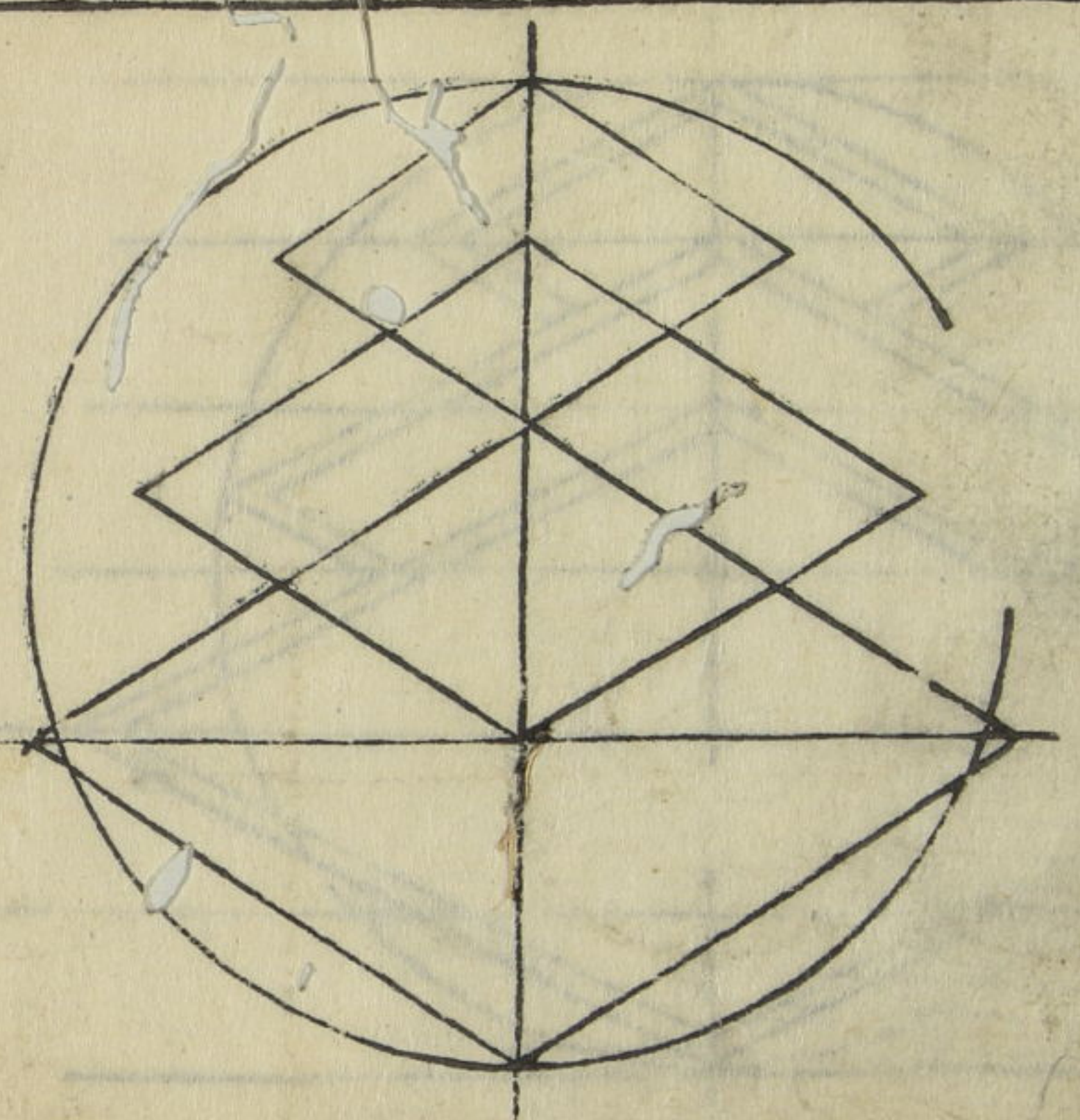
云云とりのへえ丸と廻一
係十のやれ卦ひとて
ふ初一とて(中)ふ



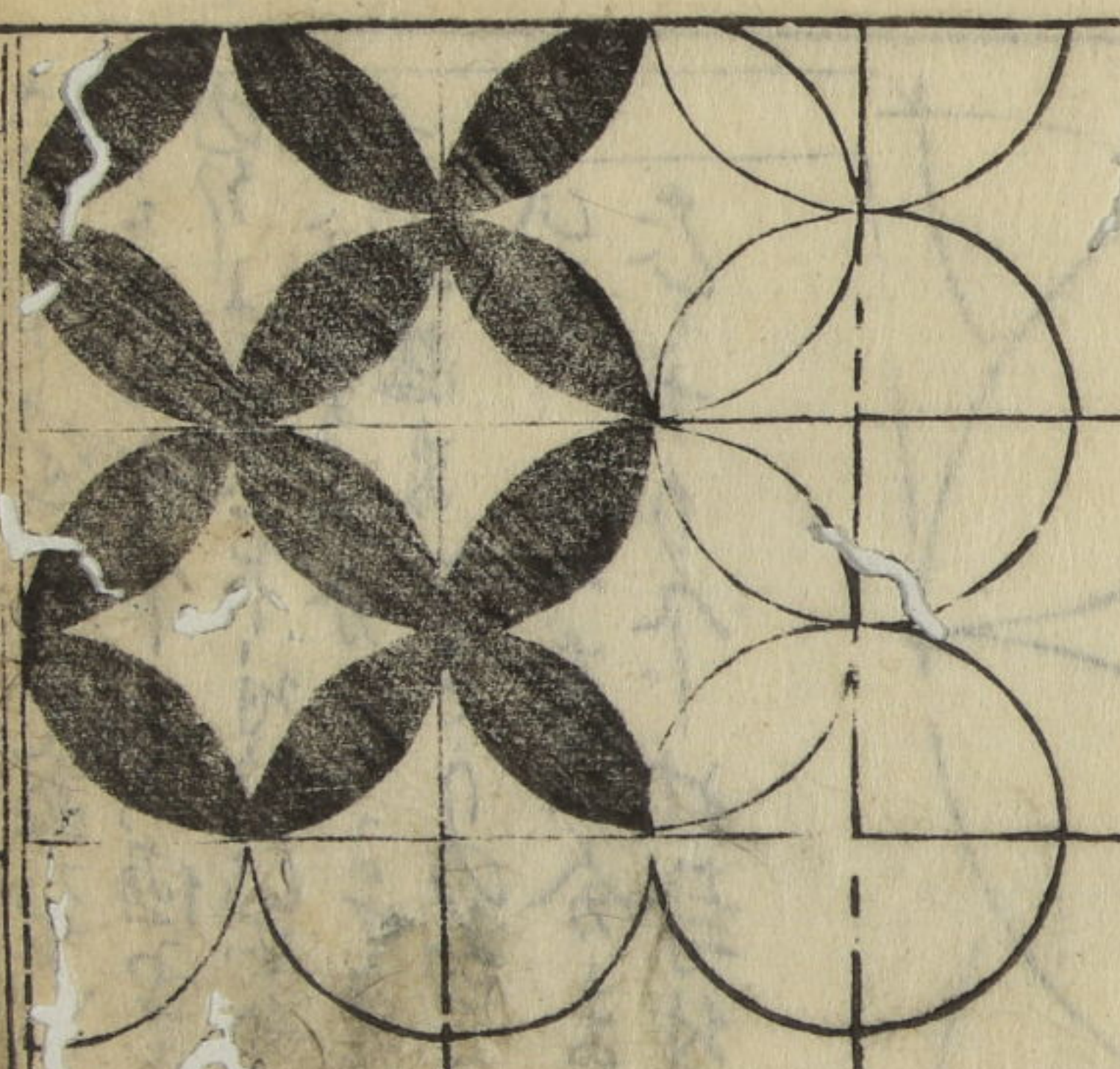
とてあらとていふやうな
とてその六つれよりあて當
のてふまゝのあり



何と云ひていふことなり
あり

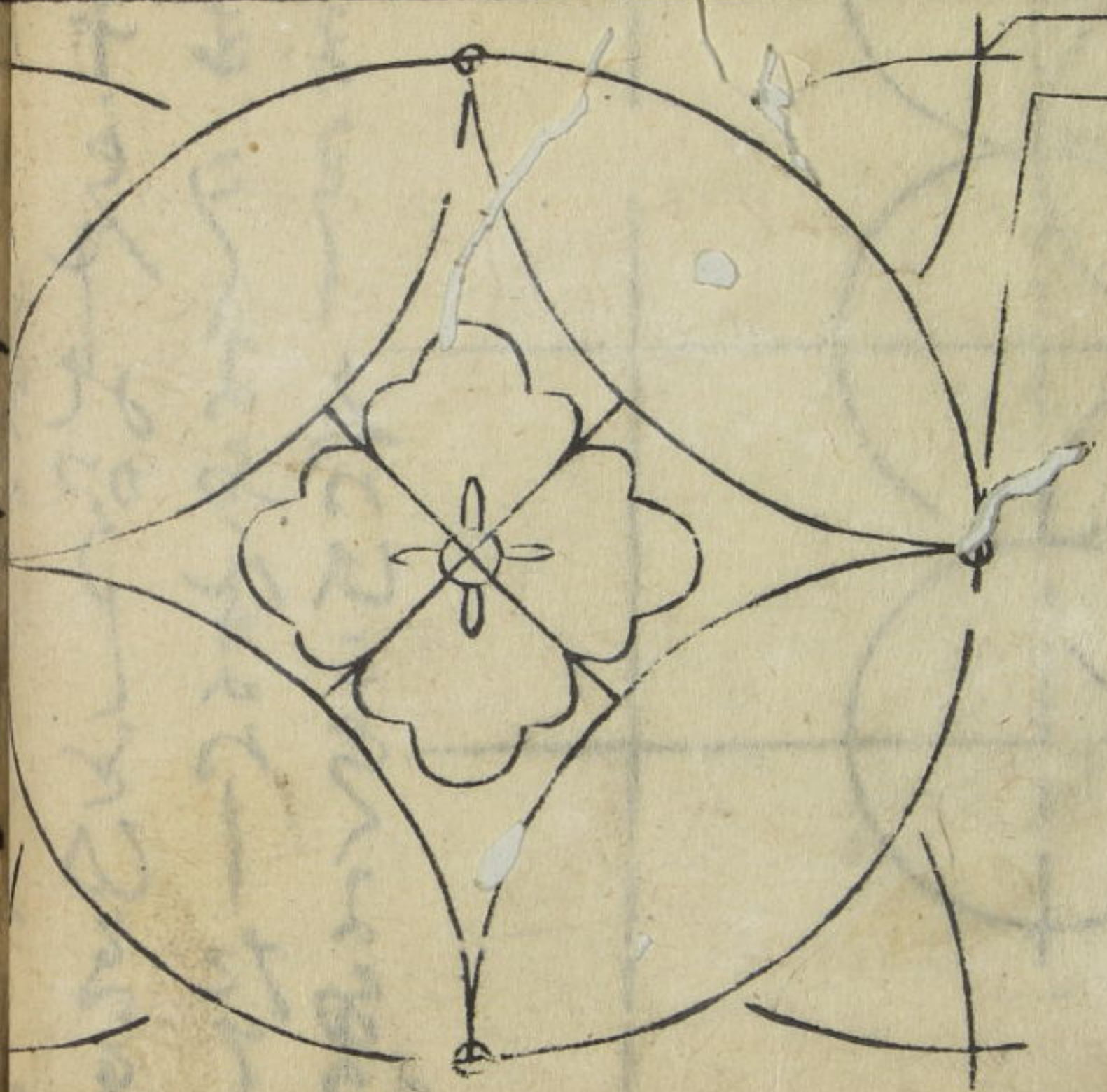


二重の丸と云ふより下まで
三つにわけていふことなり
十と云ふはかうしていふこと
ありていふことなり
ありていふことなり



はなりんれはをハルゑ本并に、
一そのふまへに、その儘あつて四方
のりよたてると付くには示分付に
たるをまゐりの分相として中地帯
あんのかちまゐりあり

はりんたるかまへし
たてなりんとれ封付い

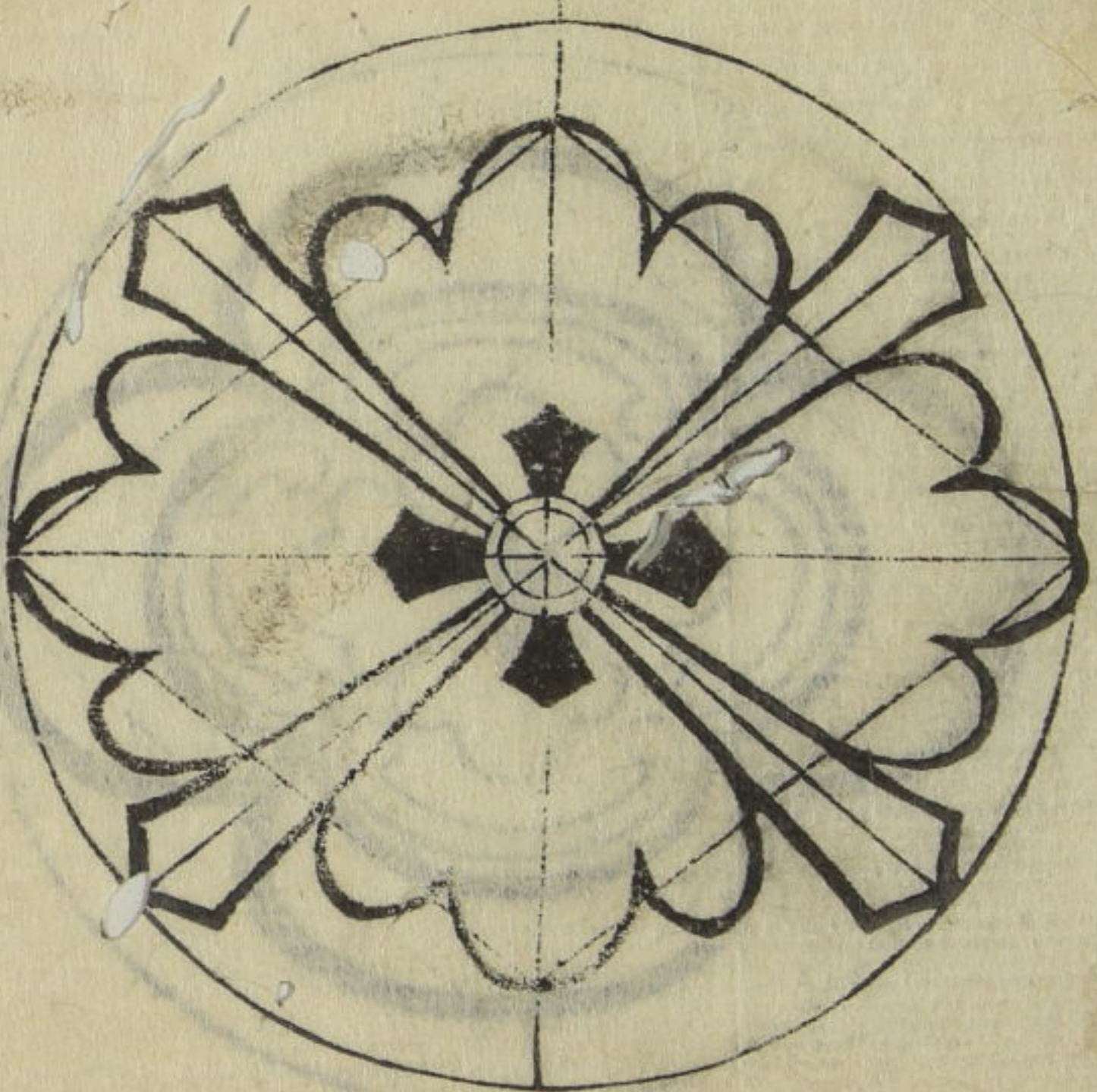


木瓜半招



いさなりやうなはにさなりひ
よりやうなはにさなりひ

海老薨之儀



いごころひーのりりん
くろあにりもに改め

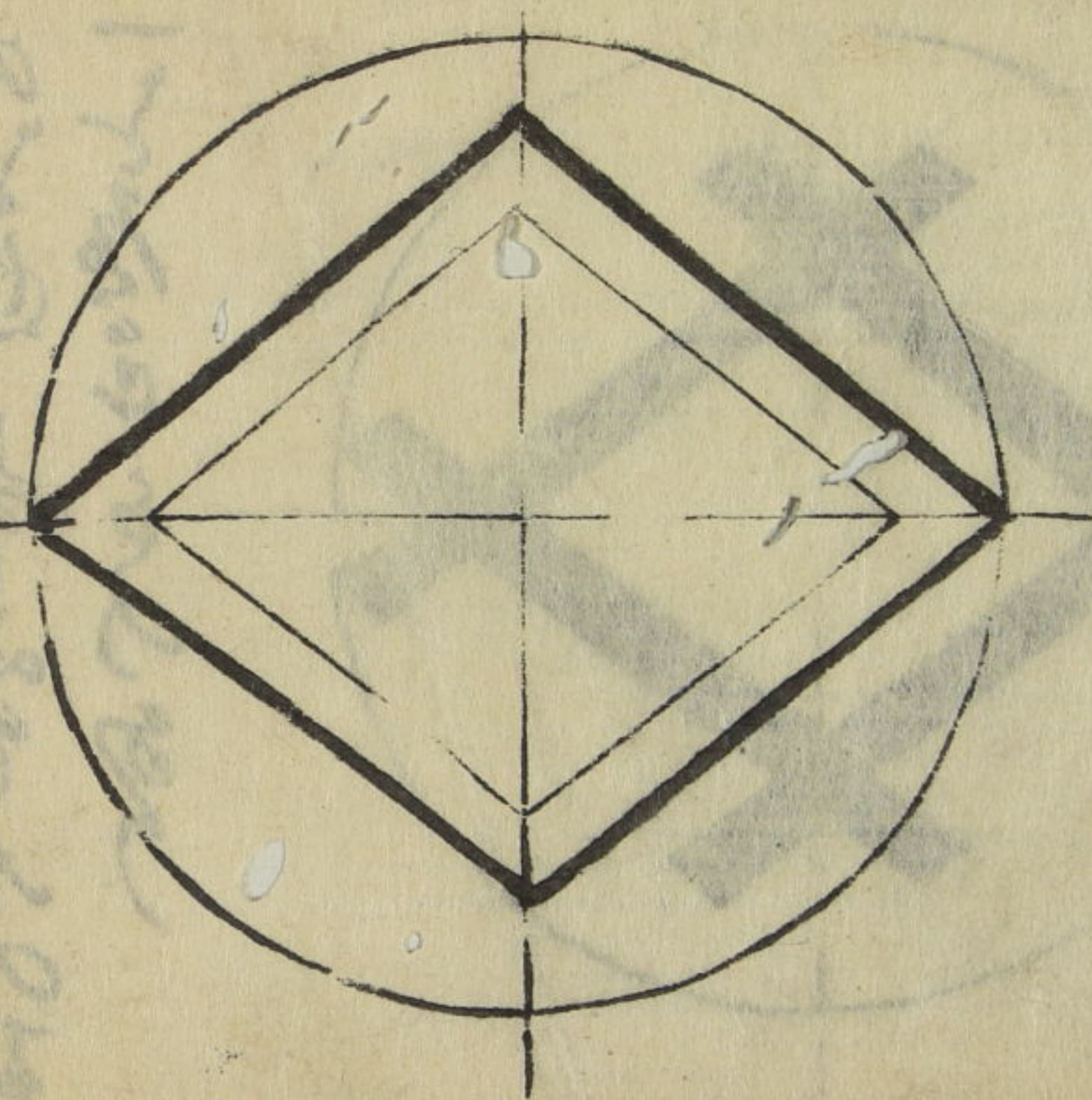
いけさすかあれこく
ぬとぬこよめてあの上
いとるさるあり



開改下

下

刻乃本盤を丸と申
 正下に十丁一をさし
 いくそあり 終る



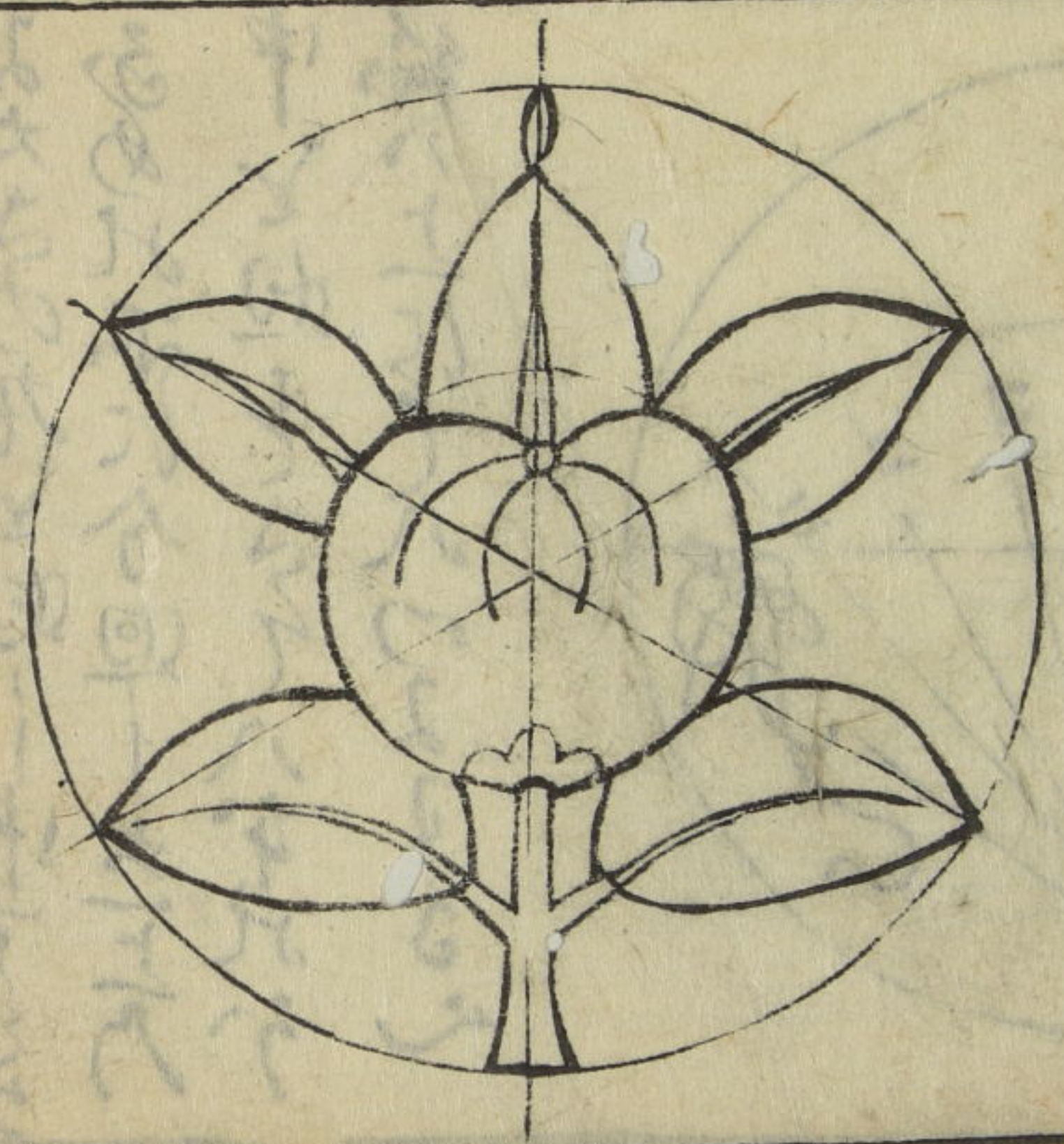
ひまの丸と申す
 み大さの丸と申す
 あめれふに分廻り
 中と廻りさして八
 糸ハ上にて八つ



別文

書線下

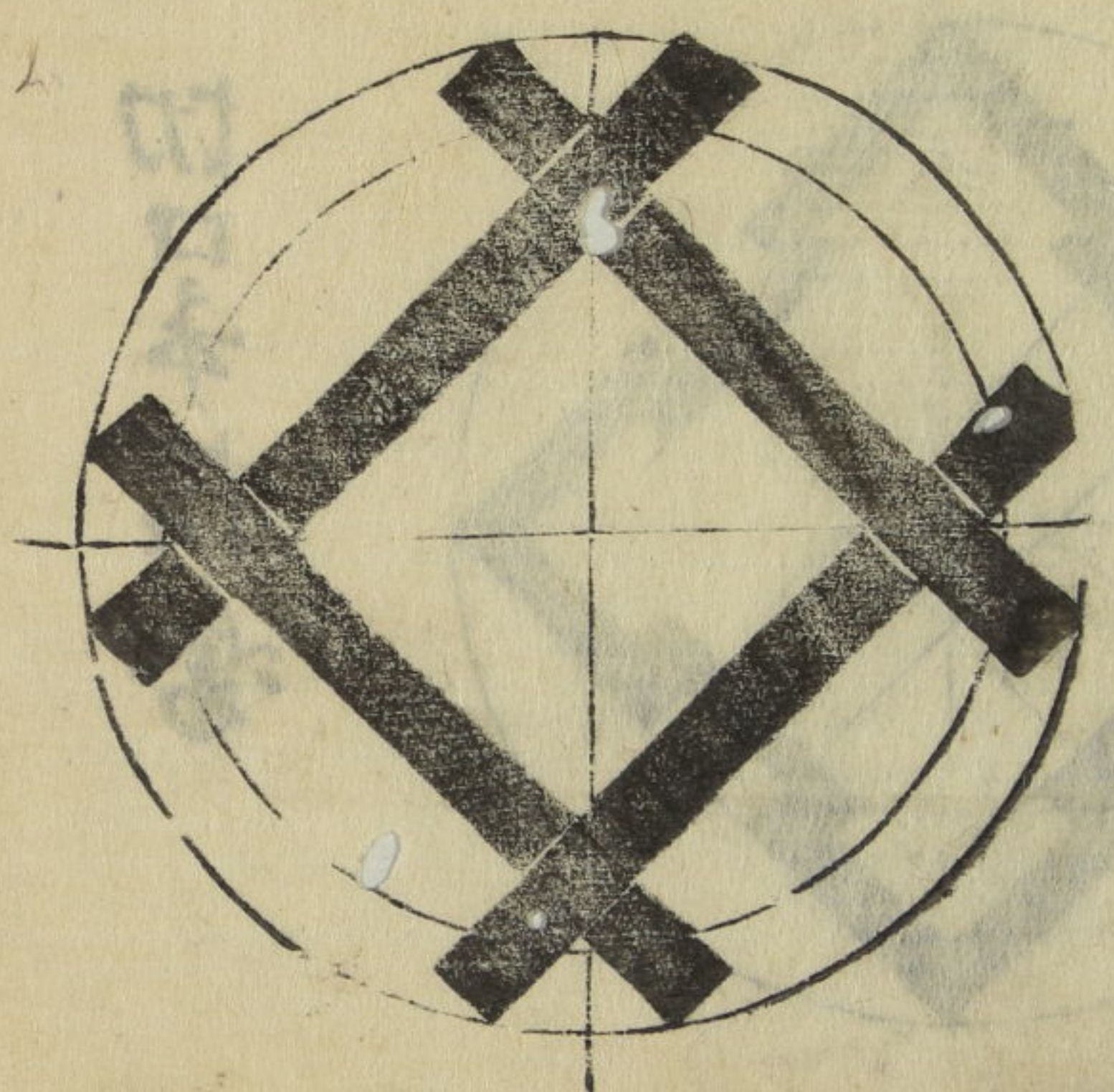
たらしめかりやう上巻れ
六のよりよりしき
刻



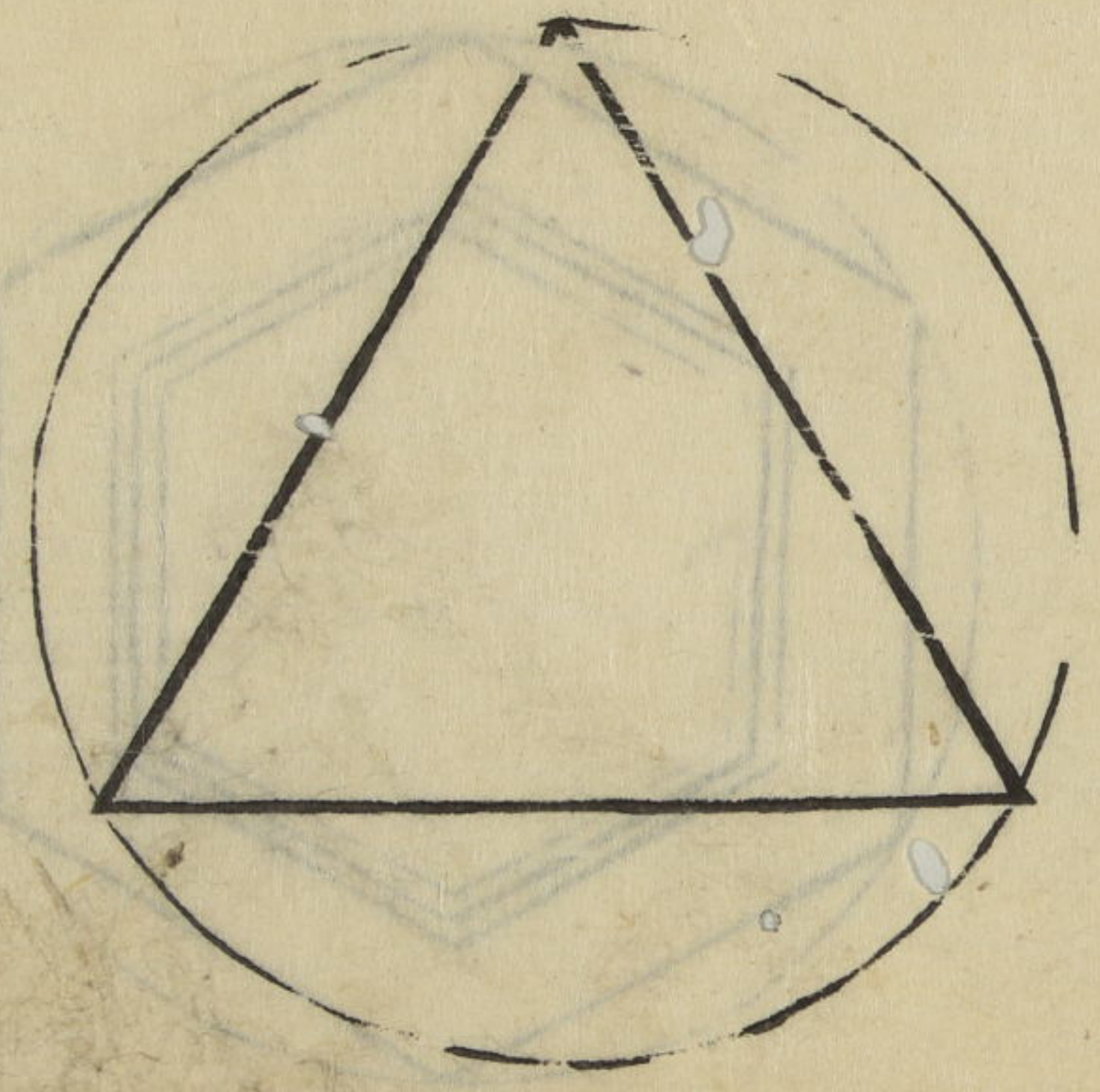
切口本松



井筒半規圖

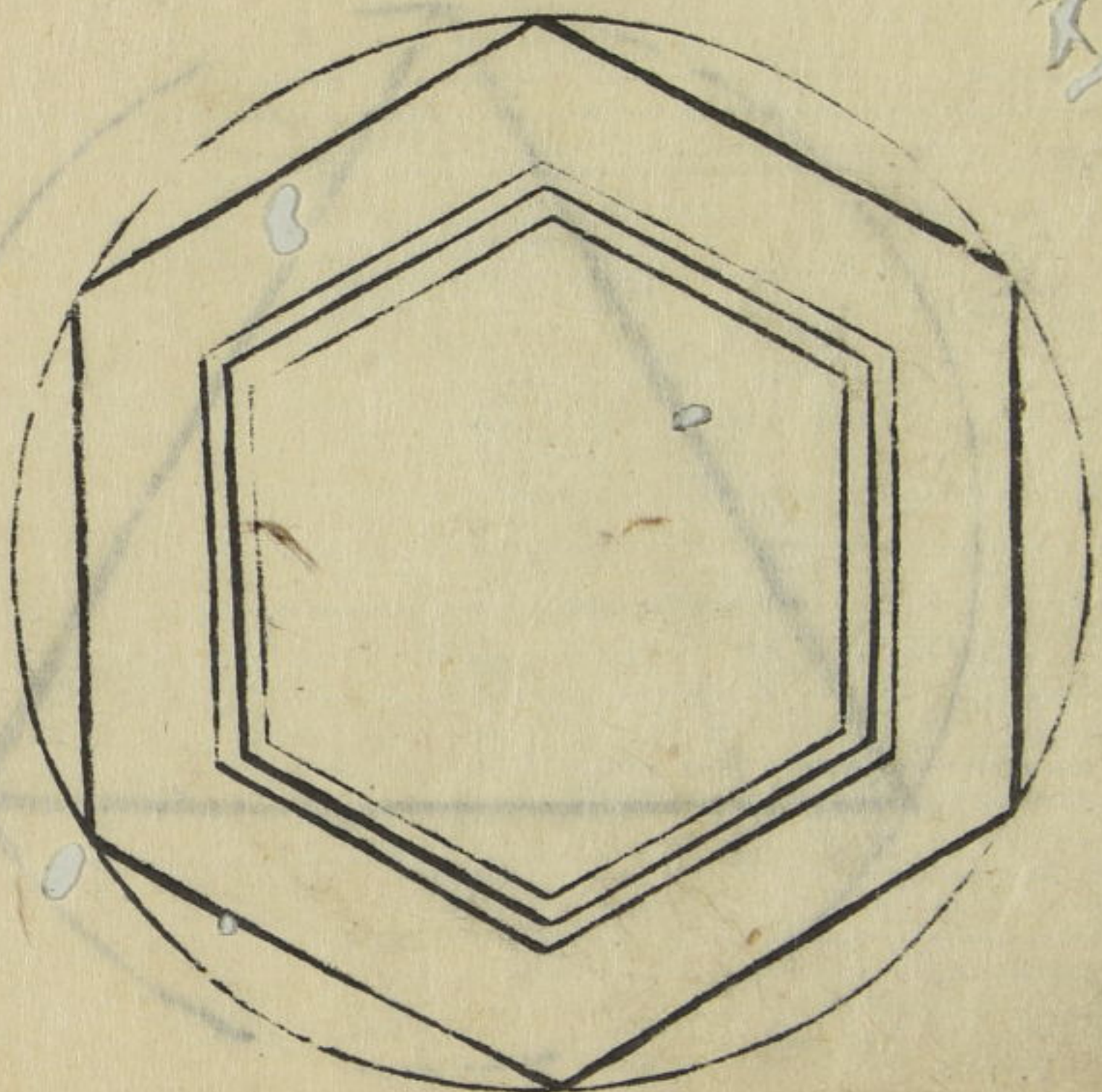


鱗形半規半規圖

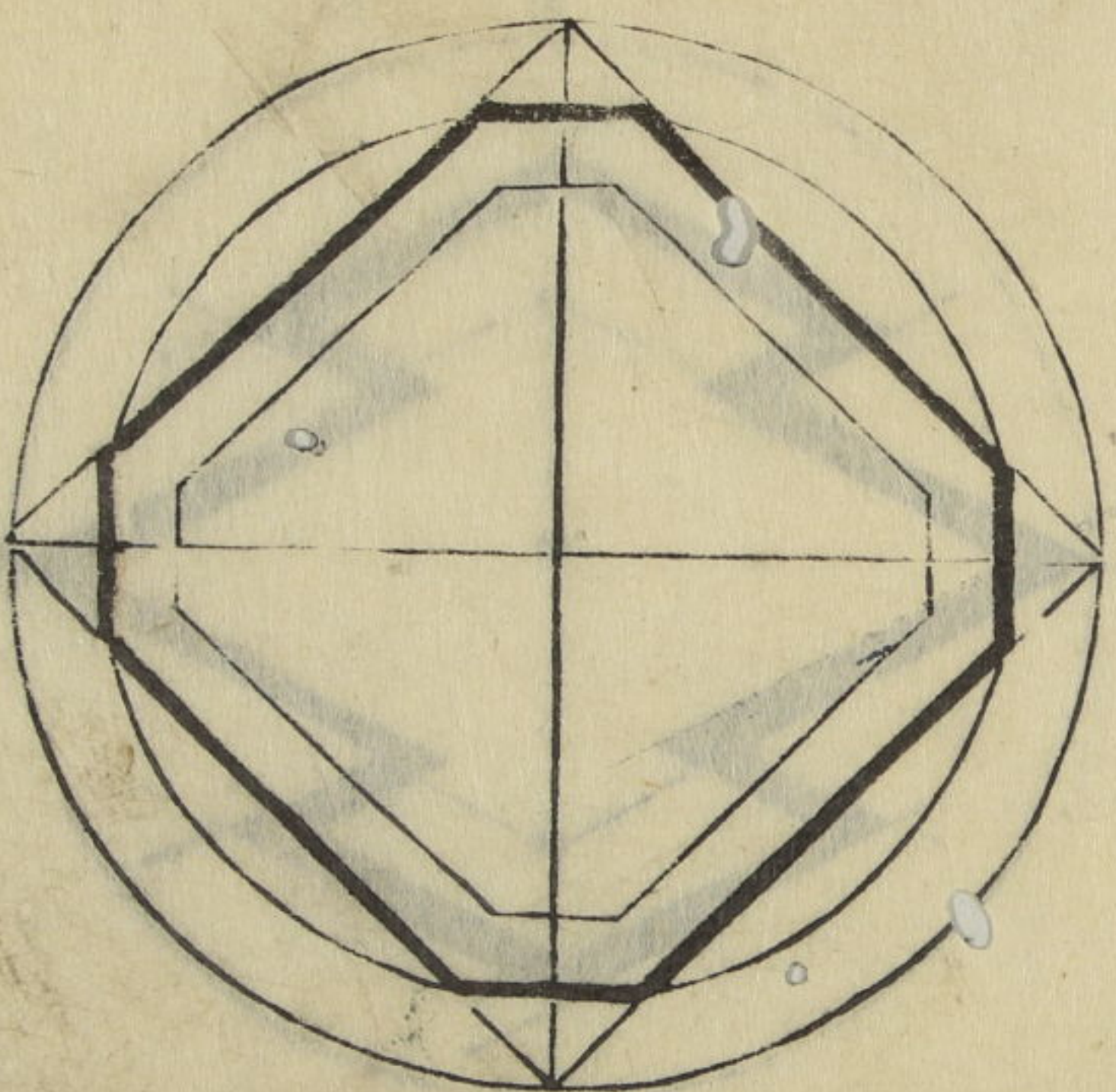


此圖は上と下をわけてみるなり
本也三つ角のちるよりなり
則ち安也

六つ角乃把事根要

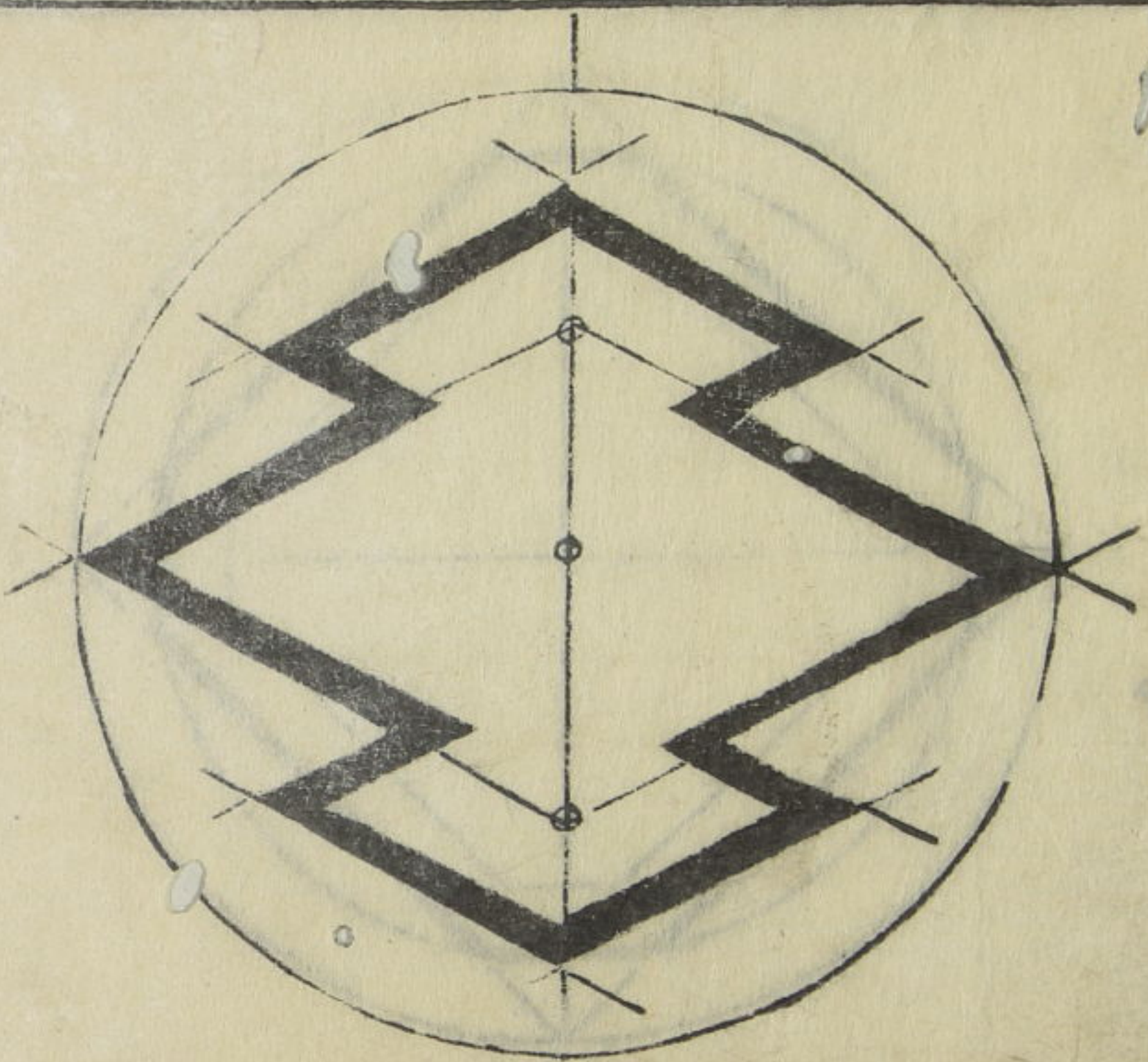


はよりやうに上巻れ六つよりまそ
うあり六つ角乃把事根要
凡六内の凡十ア一外と廻
よりあり



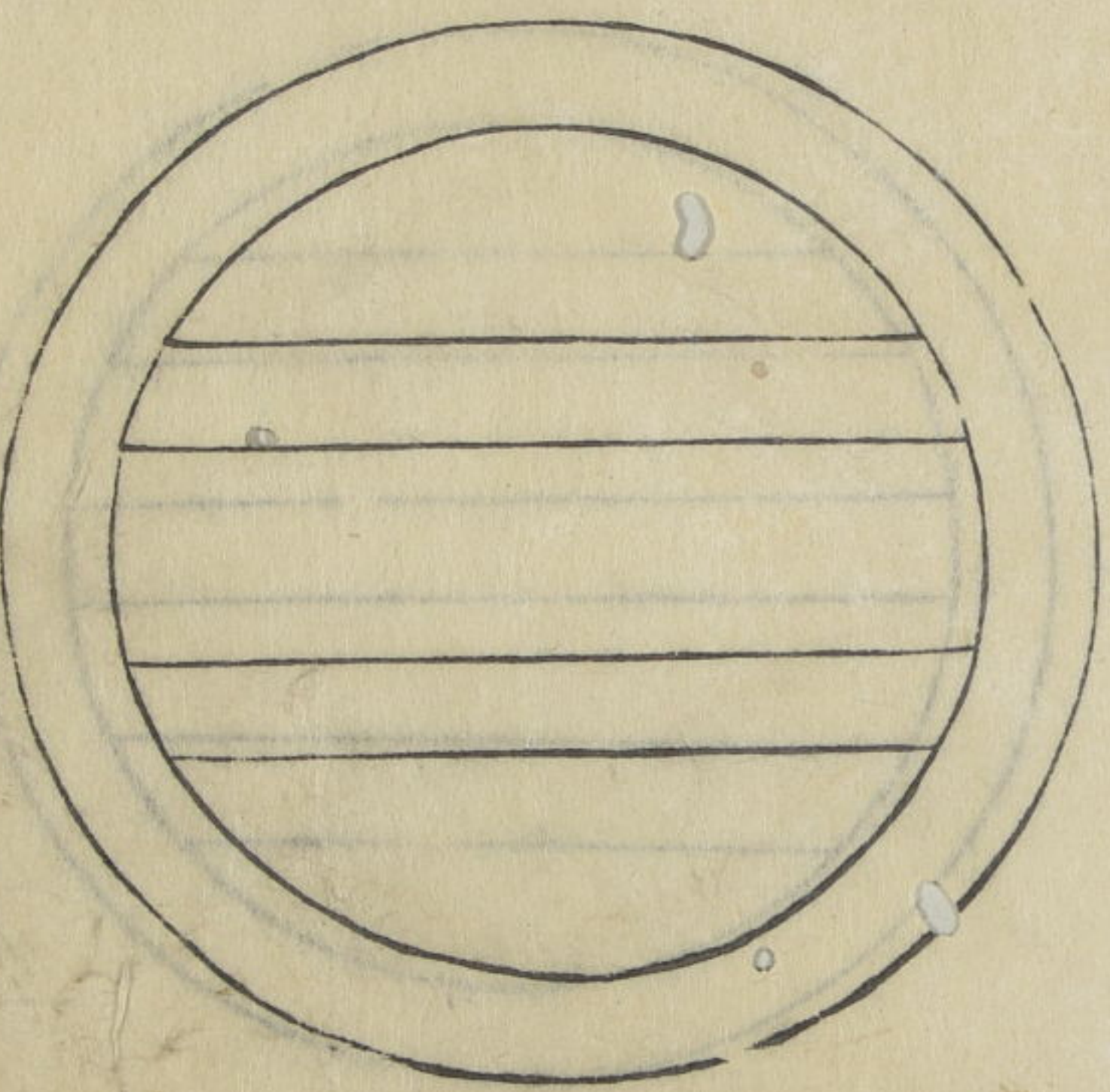
はよりやうに上巻れ六つよりまそ
うあり六つ角乃把事根要
凡六内の凡十ア一外と廻
よりあり

まのくハひーハめふ乃丸の
 上より下までとほつゝ刻



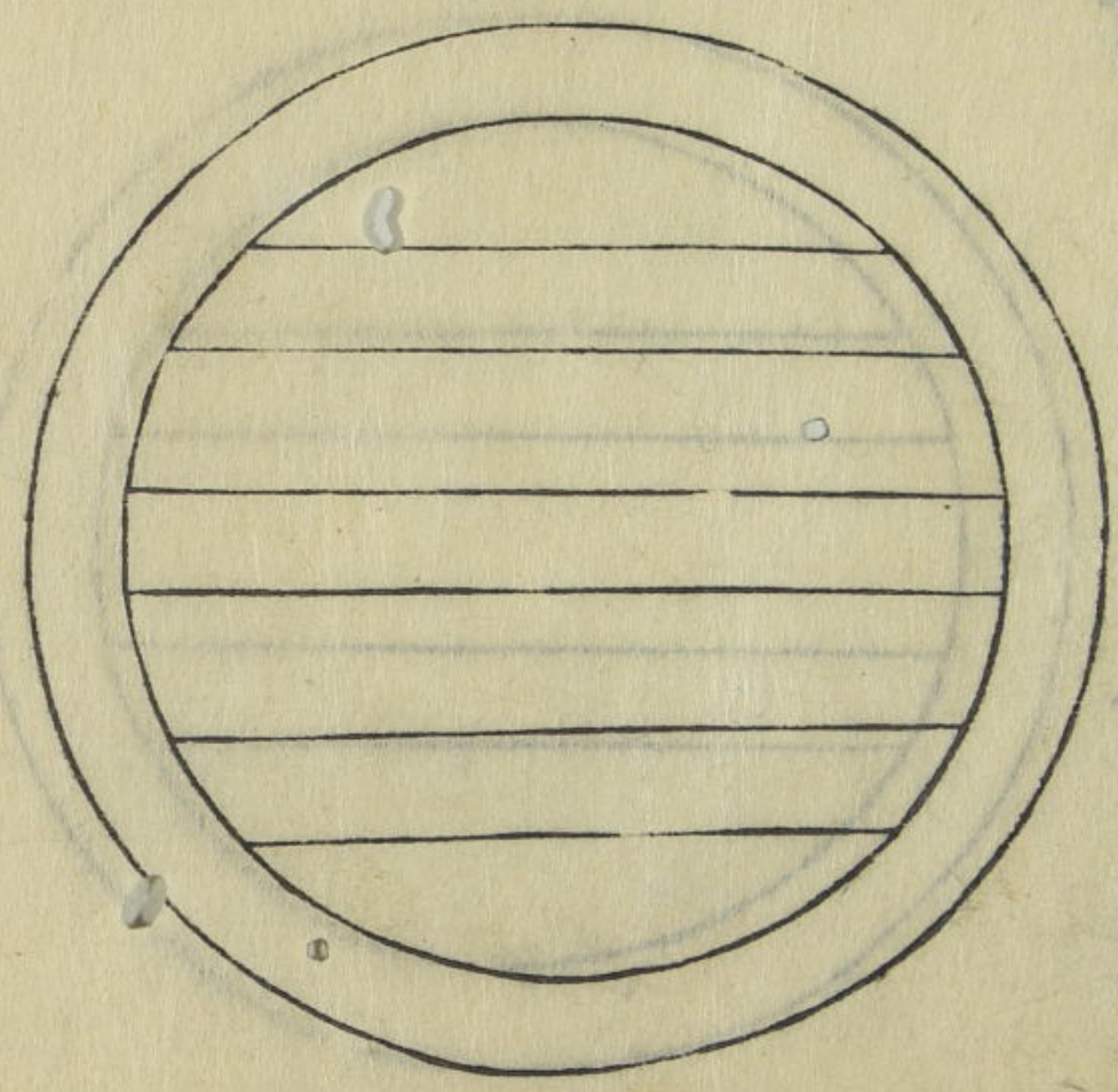
上より下までとほつゝ刻
 とあり

輪のふとこの分廻しより
 伸のりには上下に下



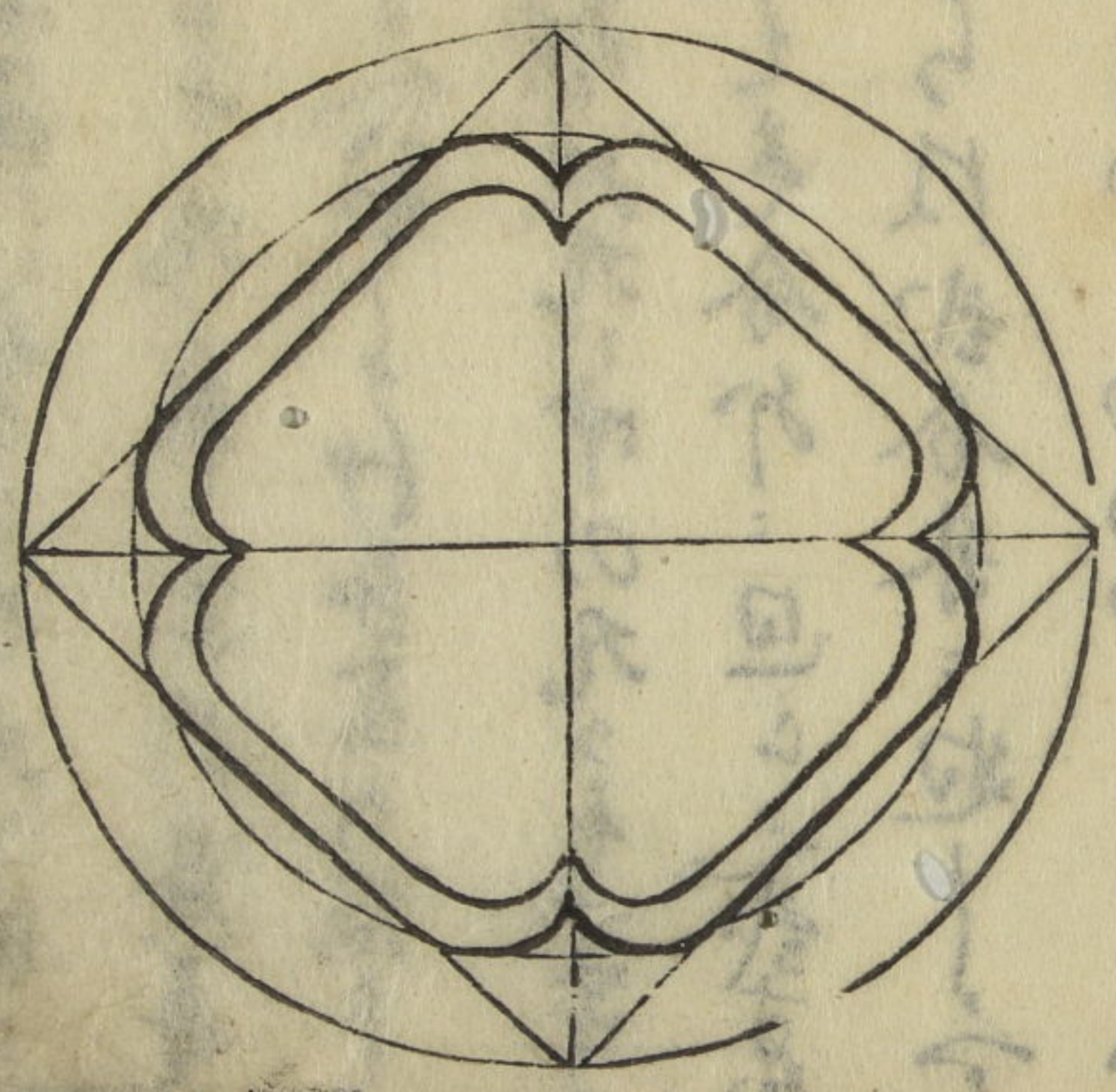
付するに分廻しを
 乃ふん廻しより引換
 のふとこ大キサのナア一

丸に三つ引乃割座うハ丸
 のふとこれふふふふ
 中乃ふとみふふふ



さく上下ハ見合てハ半
 丸

丸入角ハ割根番

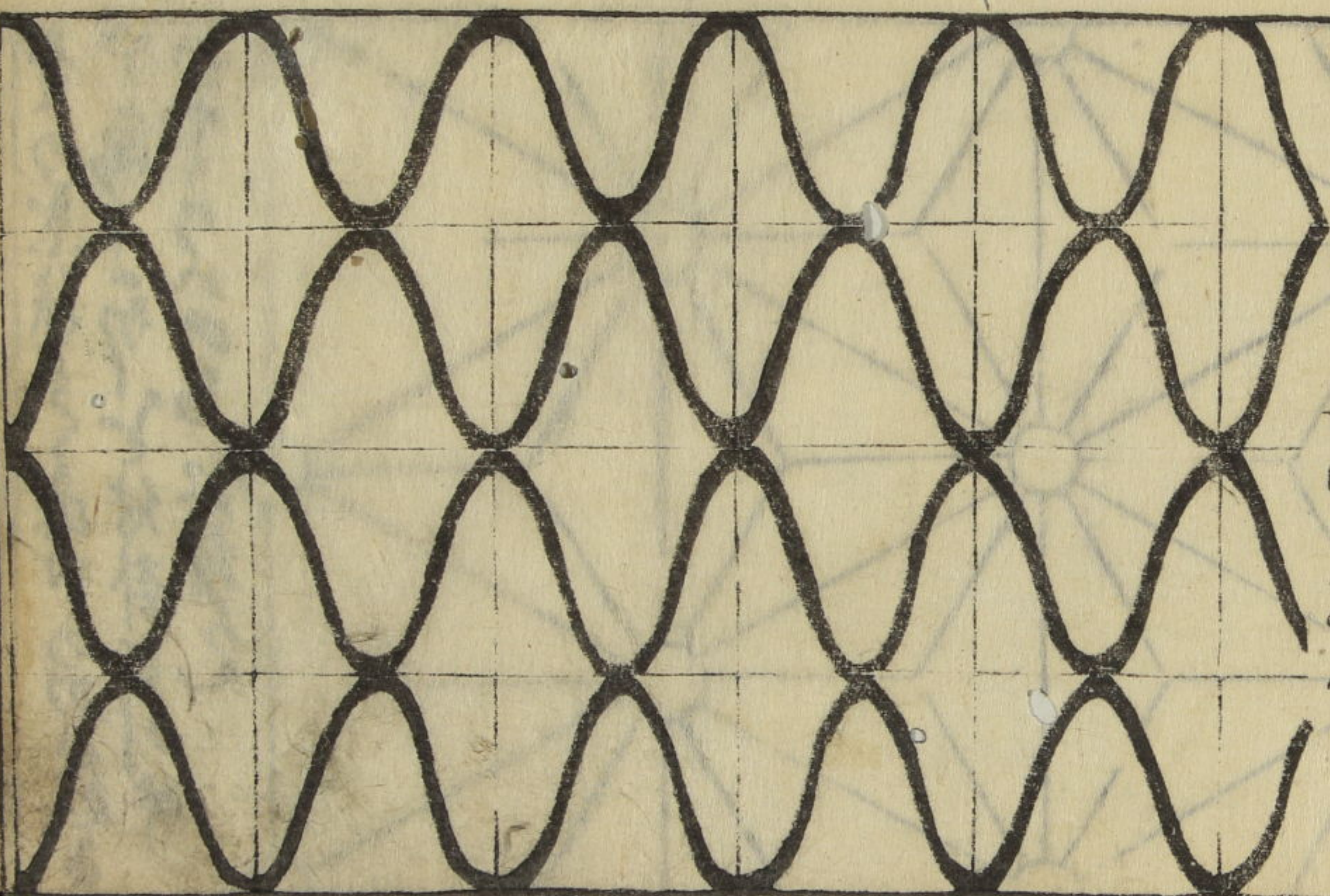


割紋下

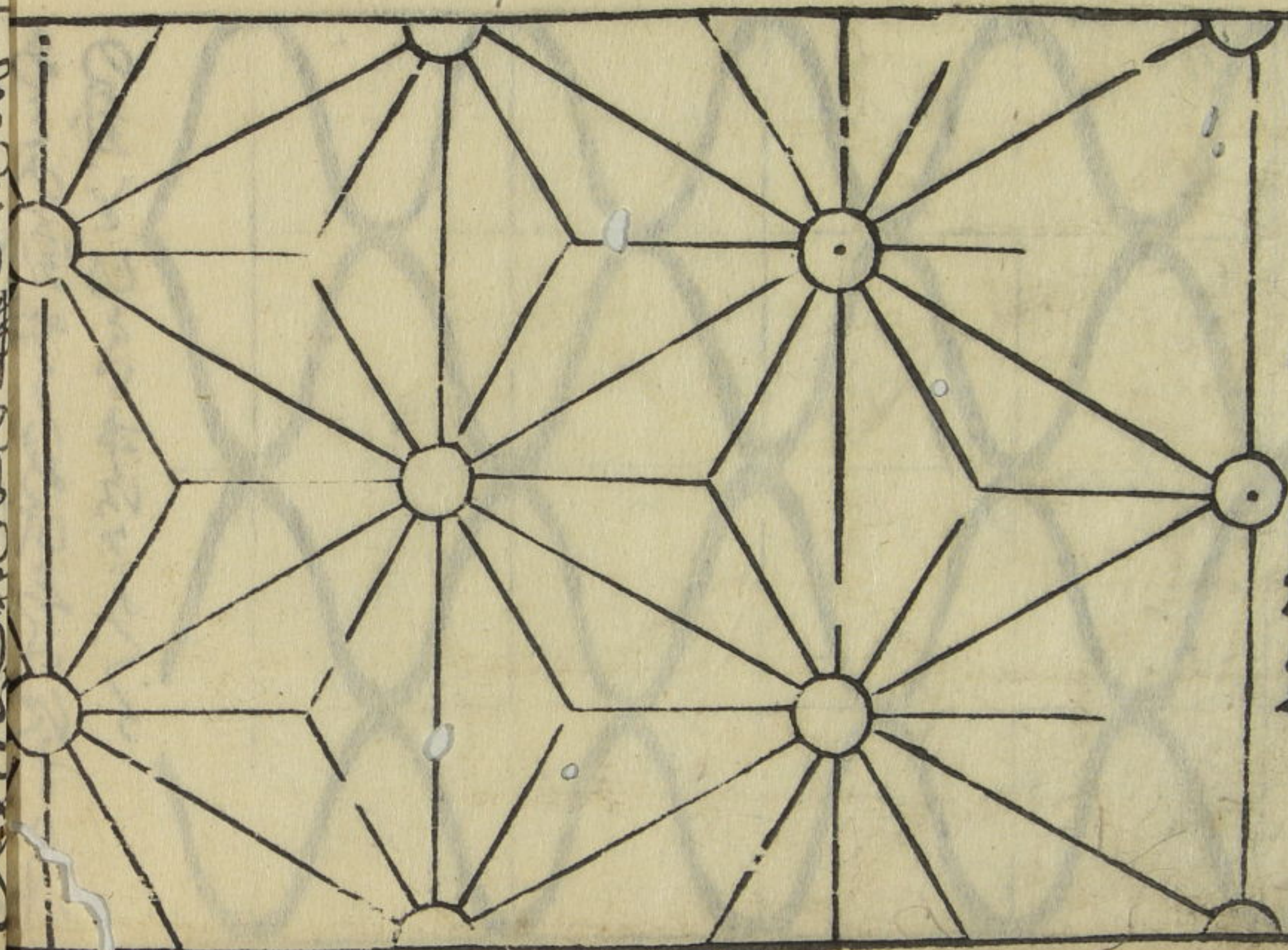
下

折入角れ刻板の上を
 刻として先をすの紋など
 曲面に又まゝ外丸と内
 丸と九角と分ちて卦と更
 えかゝるけあなりといふ
 形は九角中の丸をすま
 して分ちて四角と五角と
 らは式分外に廻して
 角がしかりといふか
 けいふなり

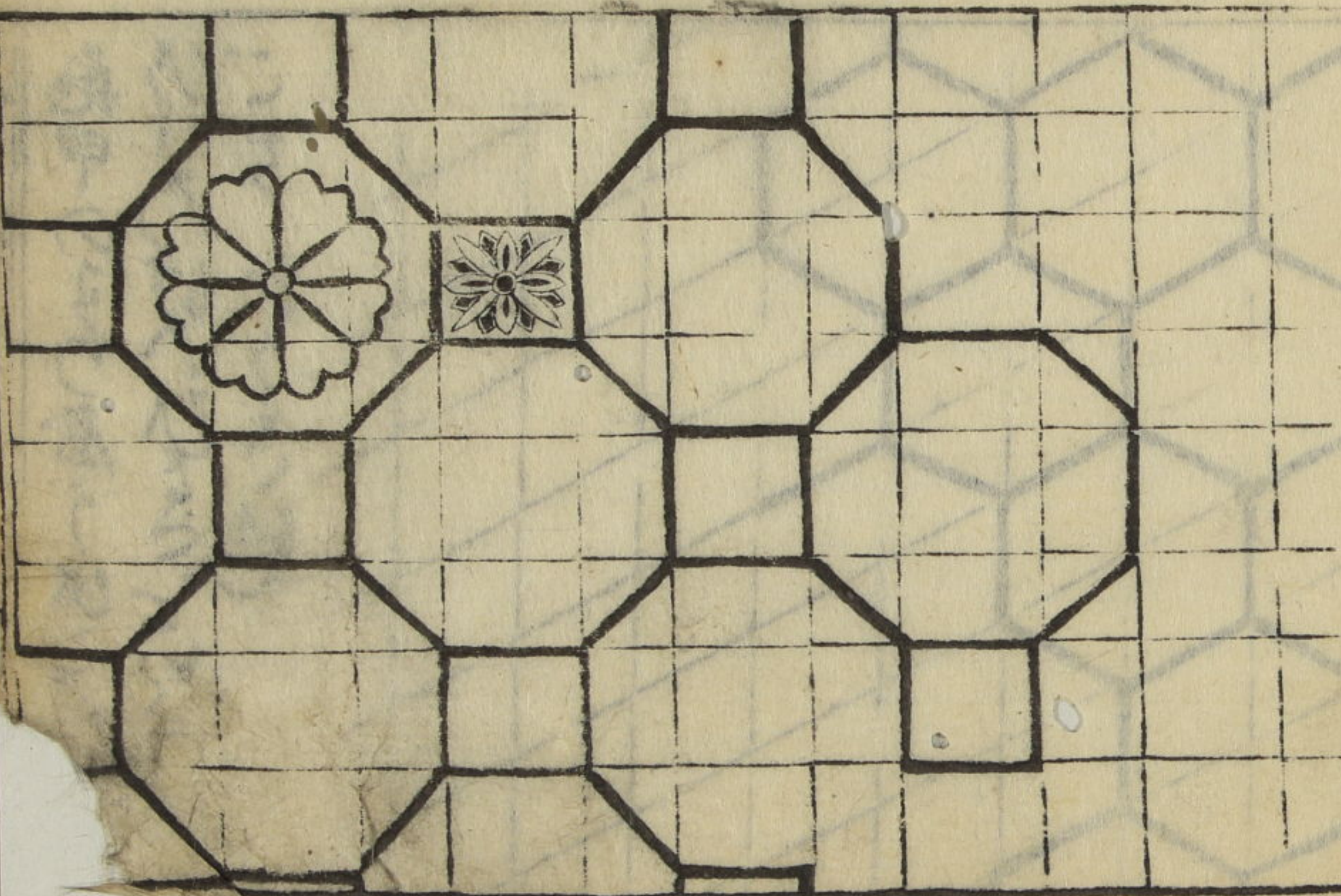
おまの字やうにいふは
 の卦といふて中はうら



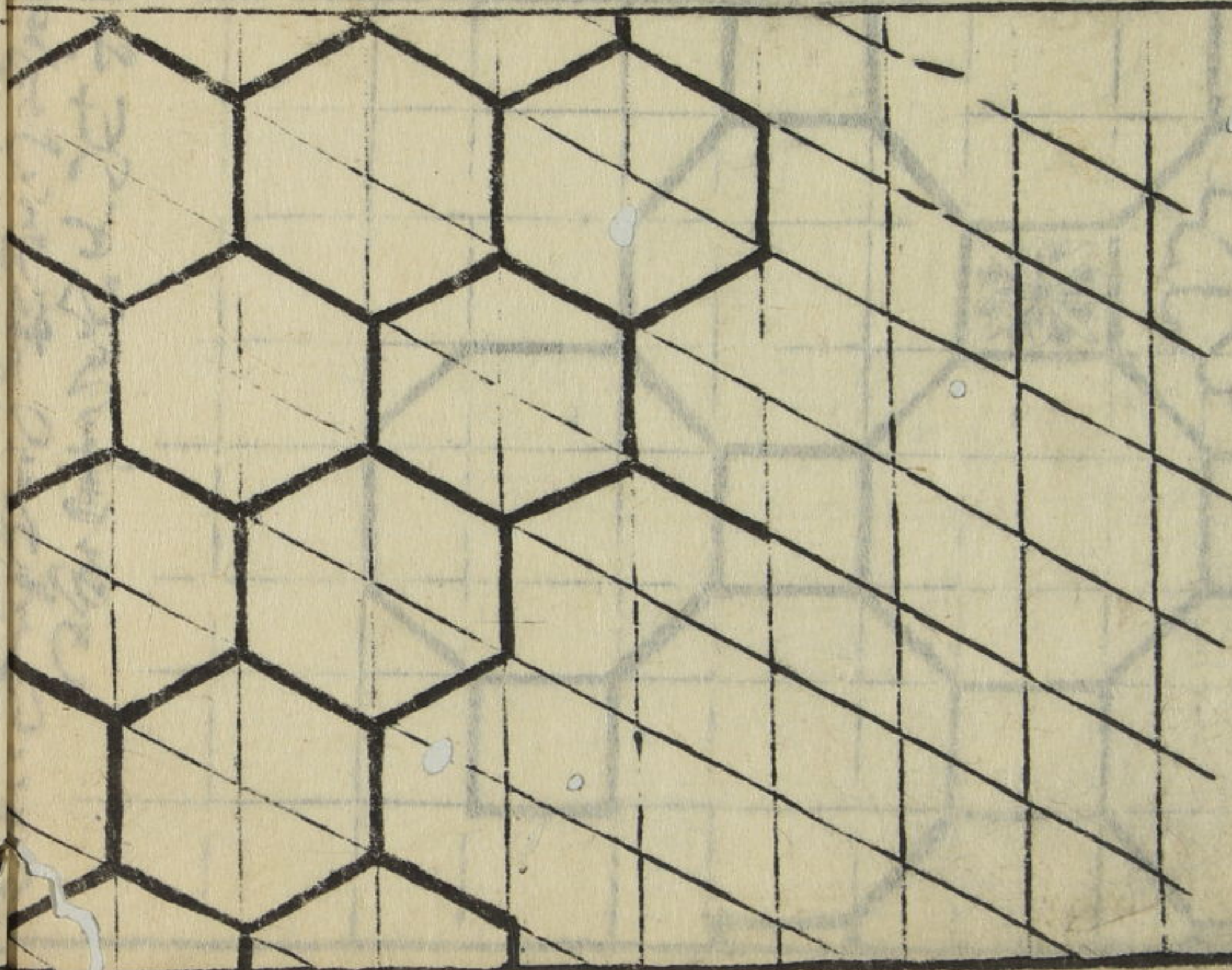
あまの雲はばくく龜甲のかゝれり
と云ふなりと付卦と引中
のふらうへのちに付ら



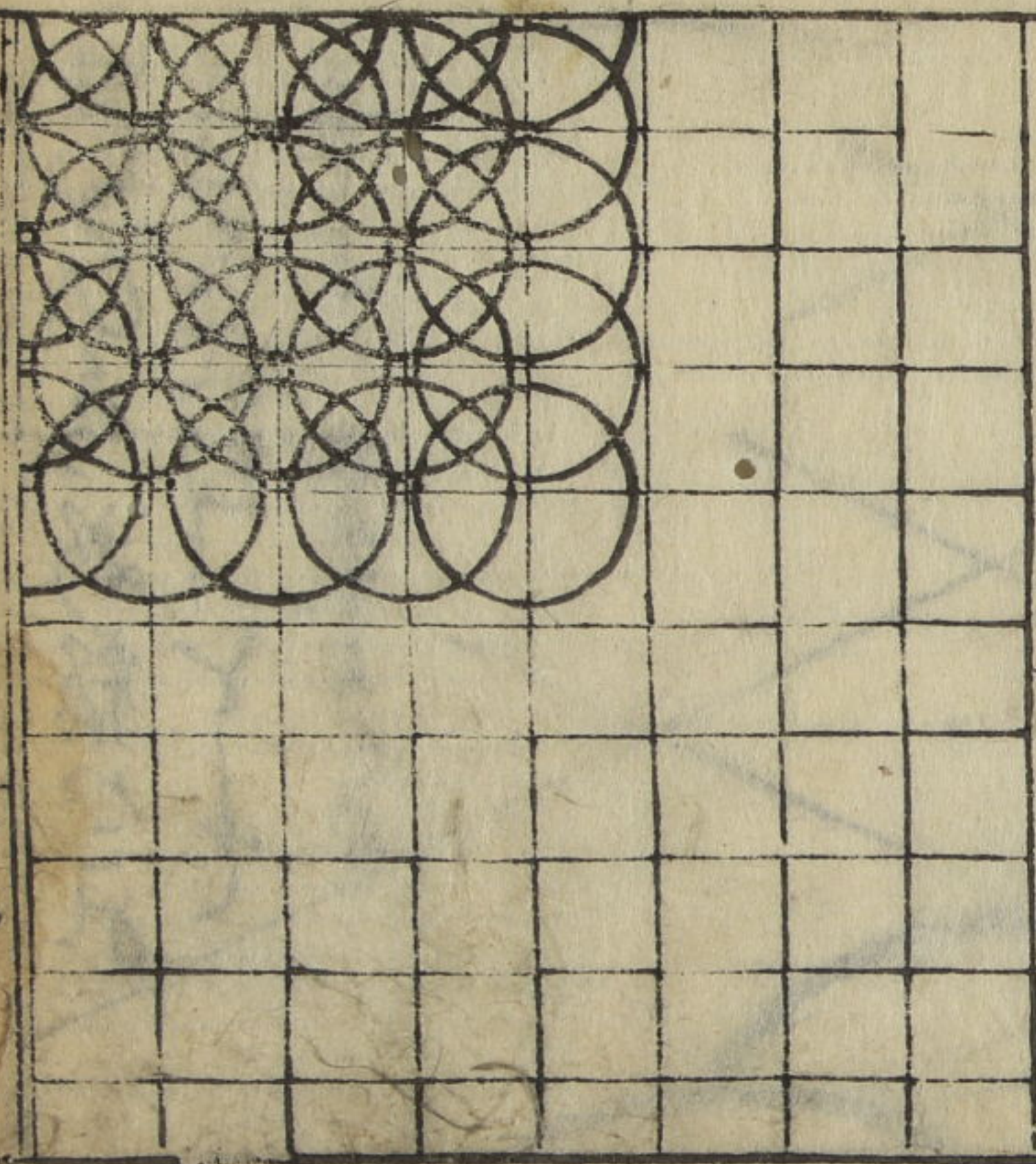
あまの雲はばくく龜甲のかゝれり
と云ふなりと付卦と引中
のふらうへのちに付ら



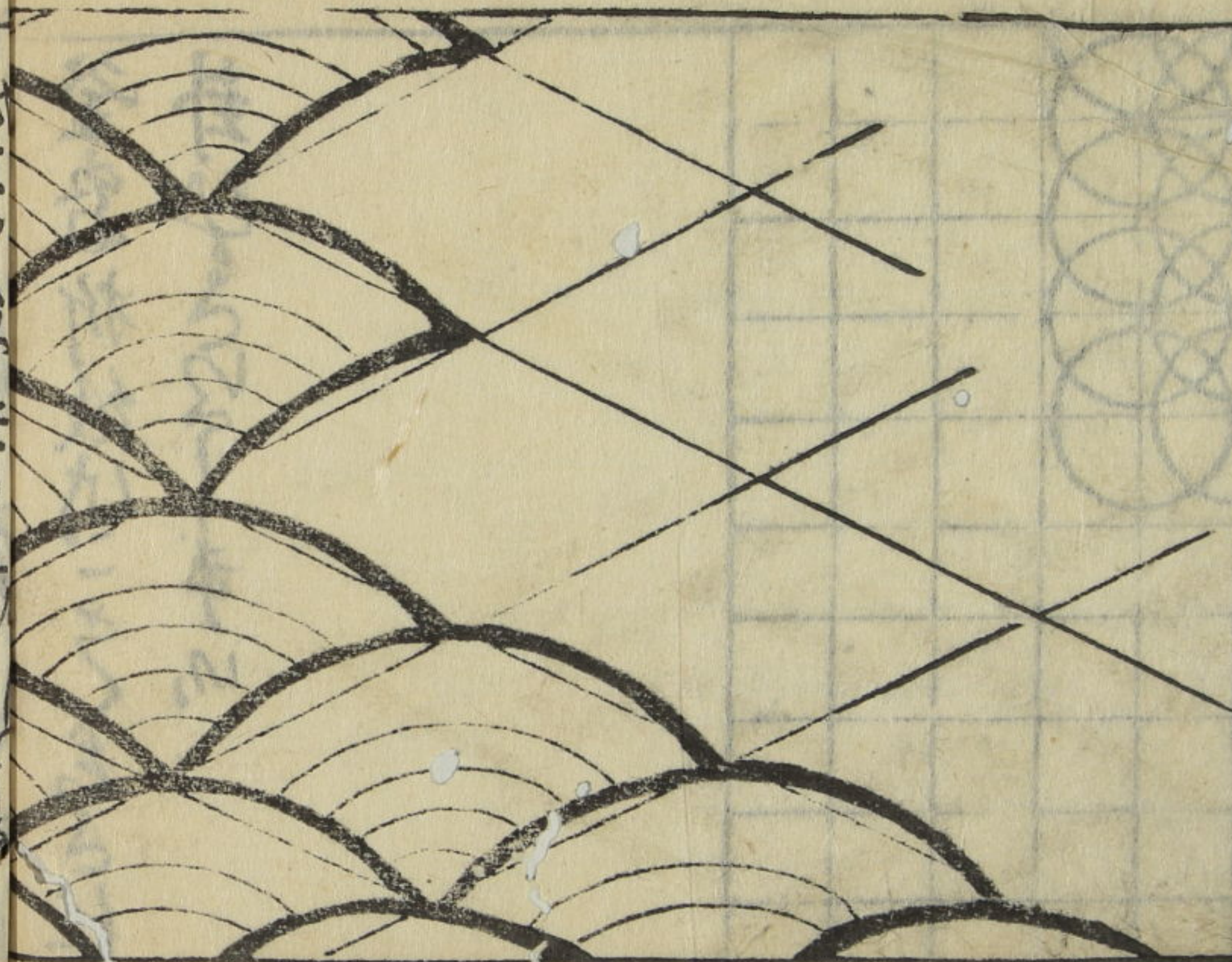
龜甲のよりをうけ
ひろけいひるを
ごころにうけい



釜の折紋はごころをうけ
卦ひるをうけ



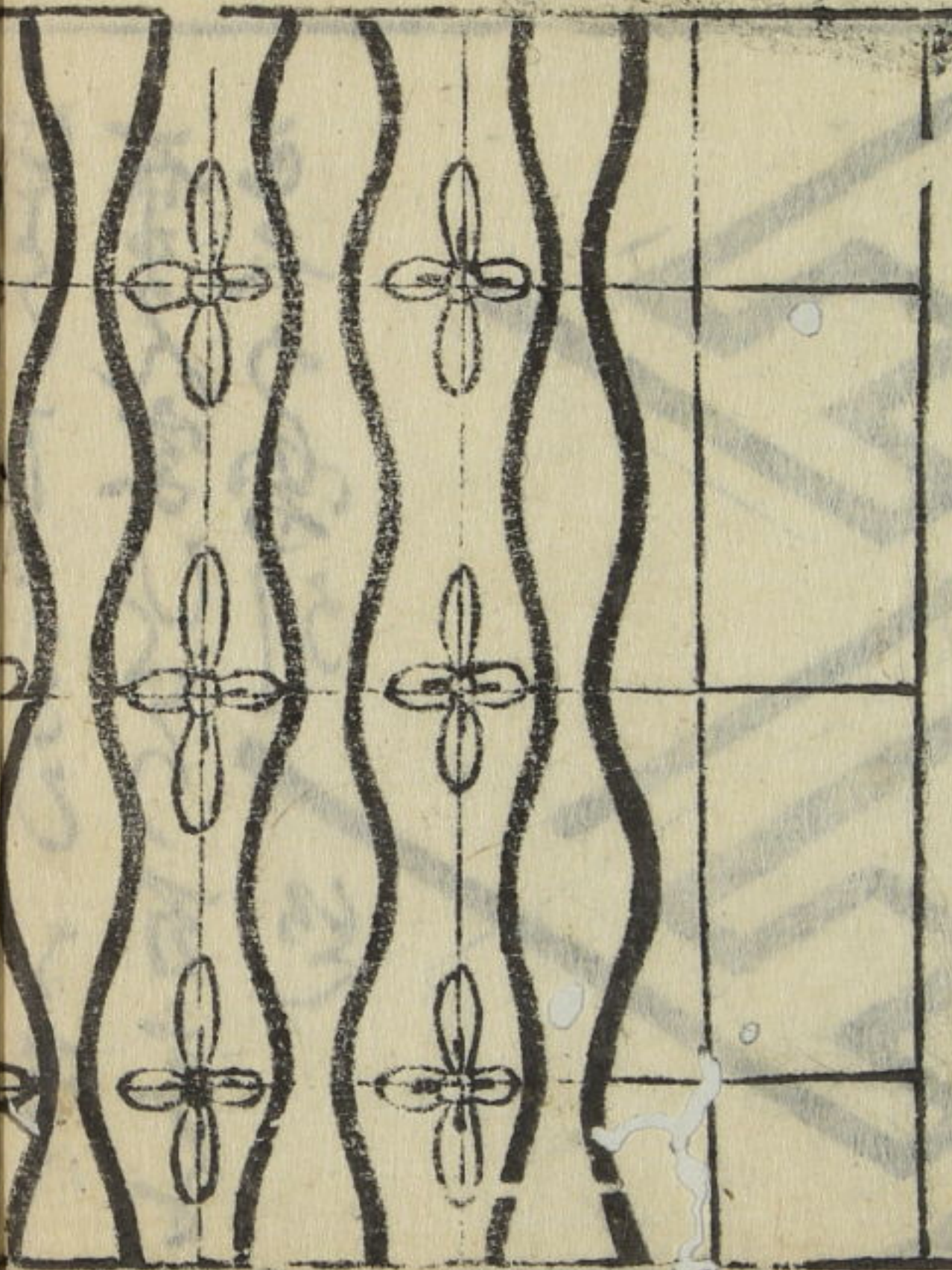
せいのひまおろねこれ
こころに解とて
半とばかりよくら



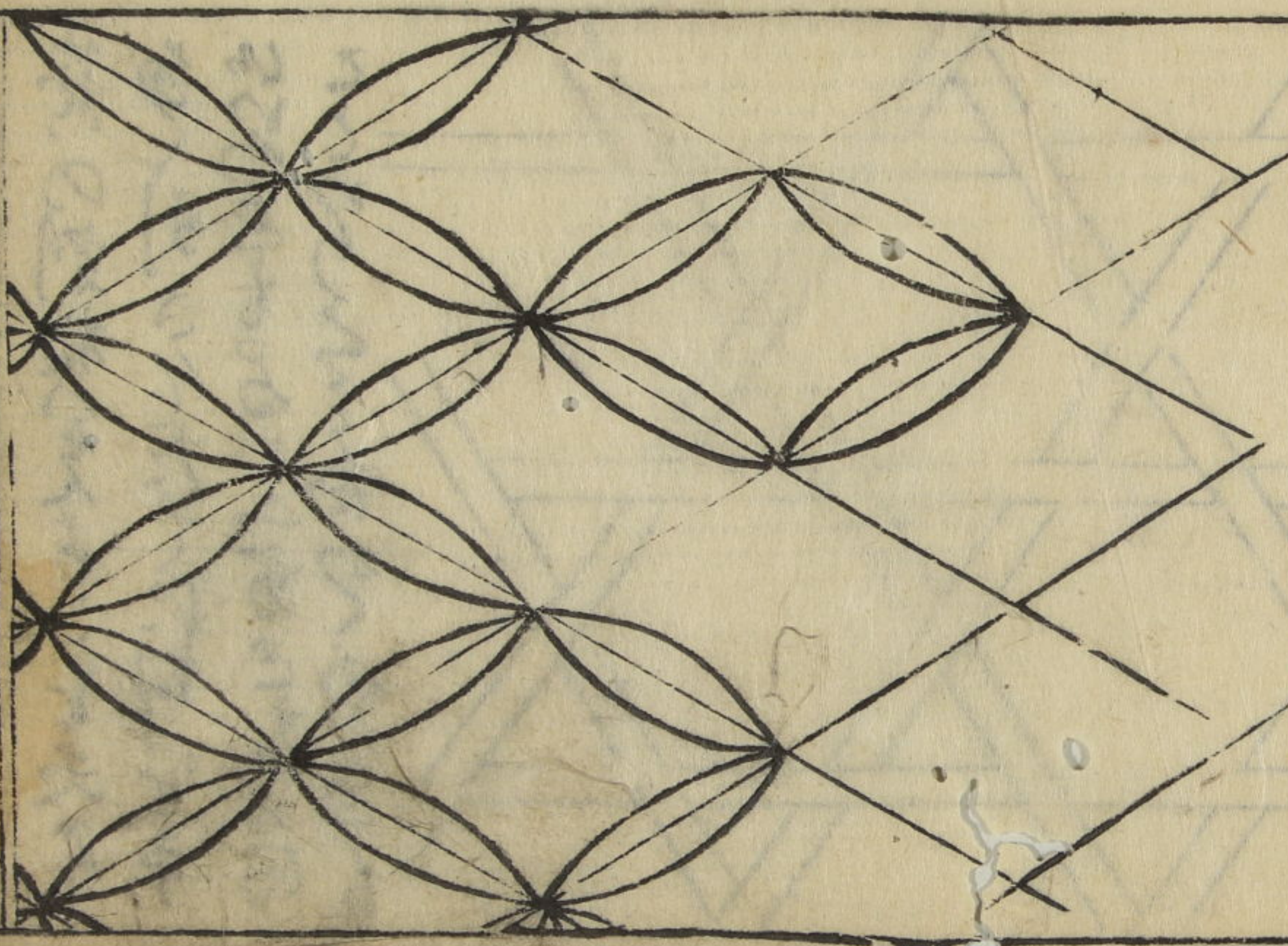
いよつとよこひと
右まん字ひざり万字と
まゝりあうり



たりともいふちみ割
 やういこくちみ割
 卦ひさしとてあり



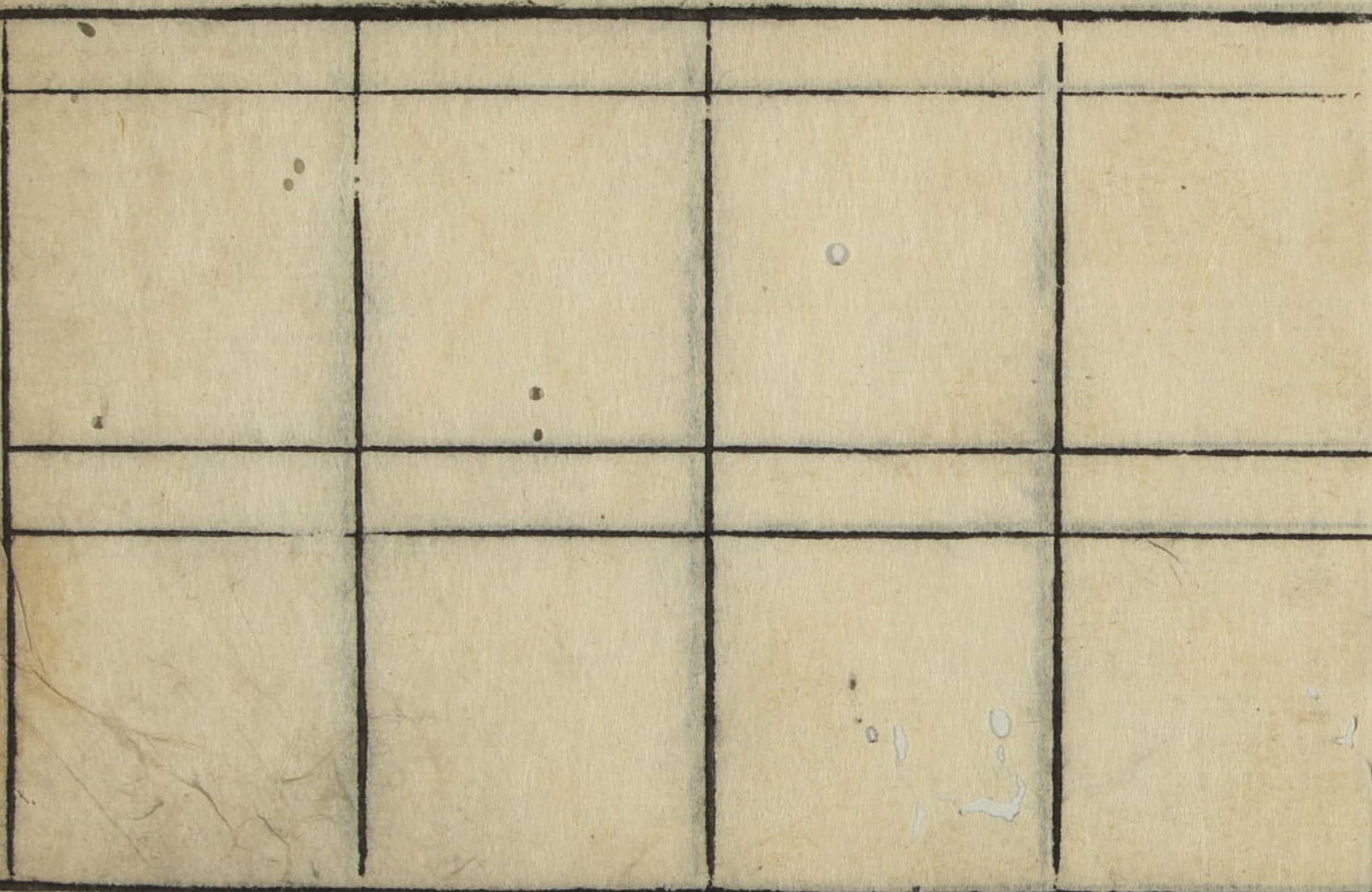
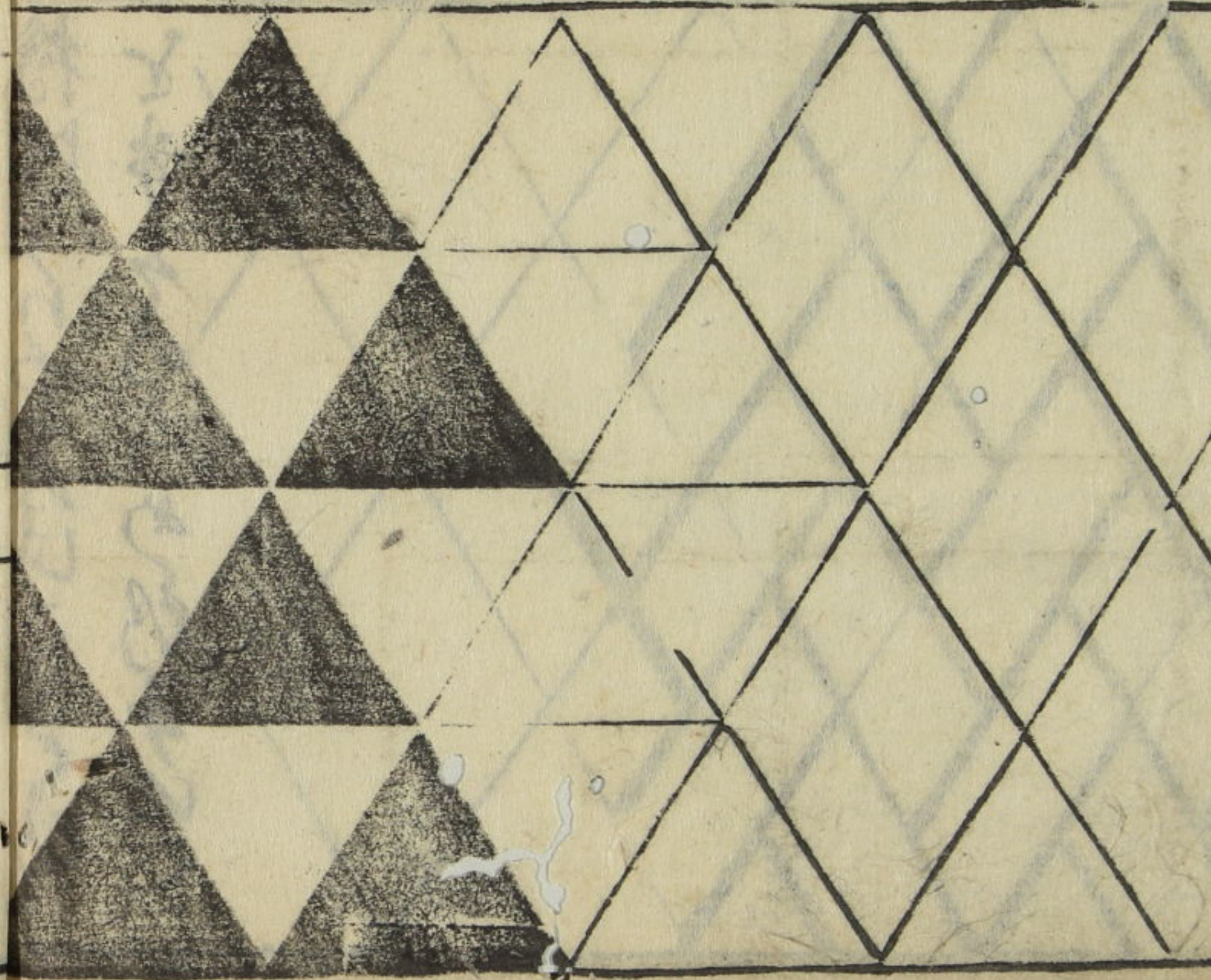
ひさしやういふちみ割
 とよこにありとてあり



箕の剡根のきんよと夫
あく引さしたてに剡と
いふまじもるに二方とも
こころいふ合わぬいふ

檜のうらういふに
と本その上めが事いふ

書
鱗に本報はよくあつてひ
き印の中よふくに封じ
いふ



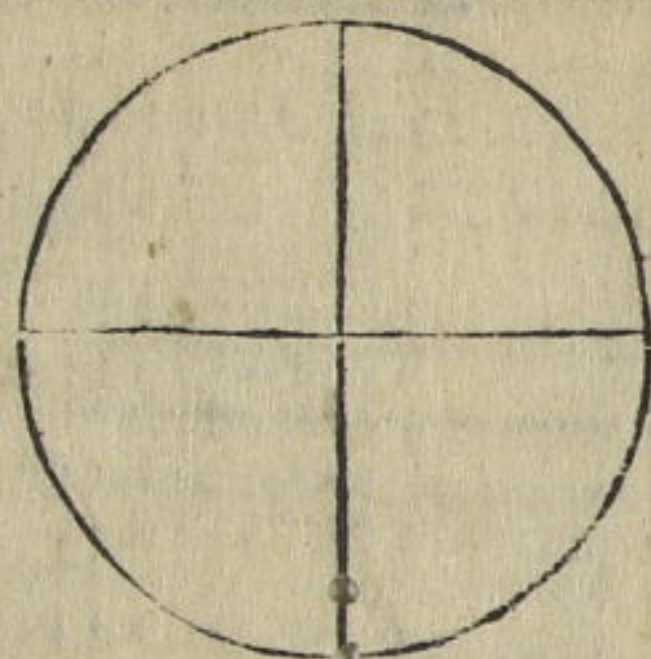




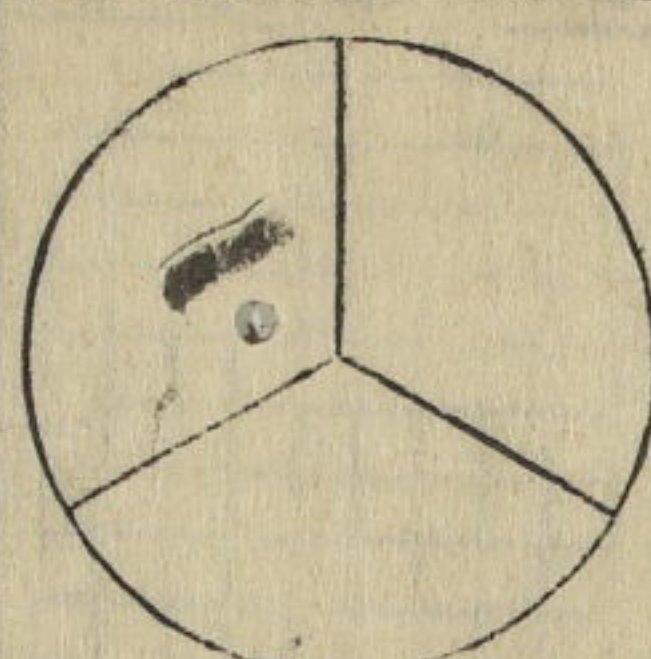
割の五



割の四



割の三



割の二



割の九



割の八



割の七



割の六



刻字ニ曰 刻のトクゝ 刻字ニてト曰 けりとのトくか

The image displays four rectangular panels, each containing a grid pattern. The grids are composed of dark, slightly irregular lines on a light, aged, yellowish-brown background. The first panel on the left is a 10x10 grid. The second panel is a 10x10 grid. The third panel is a 10x10 grid. The fourth panel is a 10x10 grid. The panels are arranged horizontally and are separated by thin vertical lines. The overall appearance is that of a decorative border or a page from a manuscript.

割の字二回

隸字成かく中を
 かたきくけいを
 かくけいの上へ
 高紙をわてぬ
 へやとくするん
 ますべての級を
 牛ふはの類はの
 外ふちとはちと
 をめて恥とな
 してかへー

定榮堂板印目錄

本朝画林

獲の辛年

全
部
二
冊

山水草木人物武忠農工業

畫畧拾遺

十二

金瓶三冊

凡押板種人初人

文
 所
 依
 繪
 事
 成

古文
卷之二

同大金

金匱之冊

稿本源氏物語

金匱之冊

國
百
傳

金之冊

同
吉葉花

金匱要略

同新田山 全二冊

同和文圖 全二冊

同法紀 全二冊

早考 全冊

袖中常用集 全二冊

明和八年正月

大坂 吉文字屋市兵衛

江戸 吉文字屋次郎

松屋茂兵衛

